

ポカリスエット

'88 SUGO TTフォーミュラ世界選手権レース 開催

TDRファンカップレース(フランス)

特集 **VIVA! オフロード**

ヤマハニュース300号記念特集

Better
Communication **300**



白熱のバトルにSUGOが燃えた



昨年国内で初開催され、GPレースとは一味違ったレース展開と一般市販車ベースのマシンによる好バトルで、一気に人気の盛り上がったSUGOのTTFF1世界選手権レース。今年もシリーズ第1戦にあたり、また8月29日に同じくSUGOで行なわれる世界選手権レースの新カテゴリー、スーパーバイク世界選手権レースの前哨戦ともなるため、YZF750を駆るマイケル・ドーンソンをはじめ、ギャリー・グッドフェロー、ポール・イッドンなど、シリーズ・チャンプを狙う外人勢12名を含む69名が参加。

5月15日、決勝レース。スタートライン最前列に顔を揃えたのは、前日の公式予選で1分35秒38のコースレコードを出した三浦昇をポールポジションに宮崎祥司、町井邦生、G・グッドフェロー。スタートと同時にYZF750の町井がトップに立ち、すぐにP・ゴダードがピタリとマークするが3周目で転倒。

その後は町井の独走となり観客の目は2位争いへと移る。しかしスタートで出遅れていた



40周までトップ争いを演じ
SUGO国際ロードコース
に集まった32000人の観客
を沸かせた町井



三浦がジワジワと追い上げ、町井とテール・トゥ・ノーズのバトルを展開。14周目に三浦がトップに立つが、23周目、SPコーナーでは再び町井が逆転というレースに会場は盛り上がる。が、惜しくも町井は三浦を追う体制となりテールにピタリとつけて走る41周目、S字を抜けたのほりで転倒。残り5分の1でリタイヤとなり、1時間20分に渡る長いレースは三浦にチェッカーが振り下ろされた。しかし、最終トップ争いを演じた町井の活躍で、YZF750のポテンシャルの高さが証明され、鈴鹿8Hでの期待をふくらませた。

また、併催の全日本ロードレース選手権第6戦・国際A級TTFF3クラスでは、エグザップ・パワーで今季圧倒的な強さを誇るYZF400が、塩森俊伸のライディングにより優勝を飾り、32000人の観客で埋めつくされたスタンドを沸かせた。塩森はこの優勝により、ランキングテーブルでも2位に21ポイントの大差をつけ、ポイントリーダーにたっている。



4位入賞はヤマハFZR750を駆る齊藤光雄。50周を走りきってトップとのタイム差1分33秒43と大健闘を見せた。



YZF750で出場したマイケル・ドーソン



併催された全日本ロードレース第6戦、国際A級TT-F3クラスでエグザップ・パワーYZF400を駆り2勝目を上げた塩森



Y.E.S.S.ステーションツーリングも人気で、ウェルカムボードにはいっばいにY.E.S.S.スタッフのネームが書かれていた

使い方いろいろ、魅力たっぷりのプレミアム

ジャンボ・サーキットタオルで

この夏お店にサーキット旋風を

いまサーキットの熱い風

サーキット・カーニバル

CIRCUIT CARNIVAL

期間：6月1日～8月31日

シーズンまっさかりの店頭を、さらに大きく活気づけるこの夏一番の話題『サーキット・カーニバル』で、'88ヤマハニューモデルを一気にご拡販ください。

期間中、キャンペーン対象車ご購入のお客さまにもれなくプレゼントされる『ジャンボ・サーキットタオル』は、1760%×810%のビッグサイズ。平選手のダイナミックな走りが、お店に、お客さまの部屋に、サーキットの熱い風をお届けします。

※キャンペーン対象車●ニューFZR400 ●ニューFZR250●ニューTZR250●TDR250●XV250ビラーゴ●ニューDT200R

Every time・Bike time



YAMAHA

詳しくは担当ヤマハマンにお問合わせください。

『ご苦労さま、シャケさん』



河崎裕之選手、 23年間の ライダー生活に終止符

「シャケさん」の愛称で多くのレースファンや関係者に親しまれていたヤマハ・ロードレースチームの河崎裕之選手が、4月24日、三重県・鈴鹿サーキットで行なわれた全日本選手権第4戦を最後に、23年間にわたるライダー生活にピリオドを打ちました。

1965年の初レース以来、つねに国内ロードレースのトップを走りつづけてきた河崎選手は、決勝前日の引退記者会見で――

「トップを維持しつづけたという意識はとくにない。レースにしろ、マシン開発にしろ、大好きなことを「戦」

積み重ねているうちに23年が過ぎてしまいました。自分が手がけたマシンで最も思い出深いのは86年のYZR500。今後はマシンの開発と後進の育成に専念します。長い間本当にありがとうございました」と述べました。

翌日の決勝レース、ライダー生活最後のチェッカーを5位で受けた河崎選手は、藤原儀彦選手ら多くのライダー仲間やファンから花束を受け、さらにYZR500でファイナル・ラン、盛大な拍手の中でファンに別れを告げていました。



レーシング・ライダーとテスト・ライダーの2役をみごとに果たした河崎選手。最近はいぶし銀の走りに人気が集まっていた



手塩にかけたYZR500で鈴鹿を1周、ファンに別れを告げた

大人気!

FRANCE

フレンチ・ライダーが舞い上がる

TDR FUN CUP



色とりどりのTDRにより会場は華やかに彩どられた



「ルックス賞」や「目立ち賞」が設けられたユニークなレースだけに、スーパーバイカーズ選手権顔負けの迫力ある走りとともに、工夫を凝らしたオリジナル塗装のTDR250が会場を大いに沸かせていました。

「ルックス賞」や「目立ち賞」が設けられたユニークなレースだけに、スーパーバイカーズ選手権顔負けの迫力ある走りとともに、工夫を凝らしたオリジナル塗装のTDR250が大盛況。

本誌4月号でご紹介した、フランスのヤマハインポーター、ソノート社が主催する「TDRファン・カップ」の第1戦が、4月16日(17日の2日間にわたり、パリ近郊のモントレリーサーキットで開催されました。

このレースは、道を選ばずに走る楽しさを堪能できる「TDR250」ならではの特性を活かし、フランス国内のスーパーバイカーズ選手権と併催で、オン・オフ取り混ぜたコースを使って行なわれたものです。

まったく初めて行なわれる新レースにもかかわらず、当日のエントリーはジャーナリストや来賓客を対象とした「スター・ファン・カップ」に32名、そして今年一年シリーズで行なわれる「TDRファン・カップ」に52名、計84名もの陽気なフレンチライダーが集まり大盛況。

ヤマハ TDR 250

カラーリング&ファッション・コンテスト

TDRファン・カップに負けず劣らずの
ユニークカラーが18000点!

“キミの感性、思いのまま”をキャッチフレーズに、月刊オートバイ4月号誌上で展開した『TDR250カラーリング&ファッション・コンテスト』に、18000通もの応募が殺倒しました。

応募用紙のTDR250、システムヘルメットSA、ヤマハ・ブルゾンの線画には、思い思いのデザインが描き込まれ、同編集部が届いた作品はどれも力作ばかり。審査にはオートバイ誌編集スタッ



フ、TDR250開発スタッフがあたり、各部門の入賞作を選びました。

なおトータルファッション賞、スーパーカスタム賞に選ばれた3名には、応募デザインそのままのTDR250が贈られることになっています。



右から“トータルファッション賞”を獲得した曾根政良さん（北海道）“スーパーカスタム賞”の堀田将次さん（大阪）、沼田英之さん（横浜）の各作品。

Y.E.S.S. 特別企画

TDR250 北海道フェリー特別チケット プレゼント

6月1日から7月31日

期間中、「TDR250」お買い上げのお客さま全員に、北海道へのフェリー特別チケットをプレゼントするビッグな企画です。

ワインディングからラフロードまで、変化に富んだ北海道の道を、楽しく走れることをコンセプトに生れた「TDR250」。

今回のキャンペーンは、いわば「TDR250」の生れ故郷への旅のプレゼントです。

広大な北海道を「TDR250」を駆って走る、そう快な旅のプレゼント。どうぞお客さまにご案内ください。



XV250ビラーゴに ニューカラー

洗練されたデザインと仕上げの美しさ、本格的なアメリカンスタイルで幅広いお客さまから支持を集める『XV250ビラーゴ』に、シックで明るいニューカラー“スプレンドィッドページェ”が追加されました。お客さまへのご案内とご拡販、よろしくお願いいたします。

6月14日
発売





RACING EXPRESS in color

ポカリスエット

'88 SUGO TTフォーミュラ
世界選手権レース 2

『ご苦労さまシャケさん』

河崎裕之選手23年間のライダー生活に終止符 4

TDRファン・カップ 5

特集 **VIVA! オフロード** 8

ヤマハニュース300号記念特集
**Better
Communication** 21
300

- 若者たちはいま/人に訊け・街に訊け ヤングの友だち意識 17
- お忙しい販売店さんのための情報アンテナ 情報スクランブル 20
- ニューモデルのお客さま BW'S 37
- 時代を変えた名車たち ヤマハ・スピリッツの原点 YDS-3 38
- 短期集中講座 お店のパワーアップ——人づくり・店づくり・客づくり
店づくり編(Ⅲ) 40

- ヤマハ・トピックス 42
- レーシング・エクスプレス 46
- インフォメーション・フロム・ヤマハ 48
- お店訪問・こんにちはヤマハです 50
- パーツ&アクセサリーズ 52
- ザ・レイティスト・アド 54

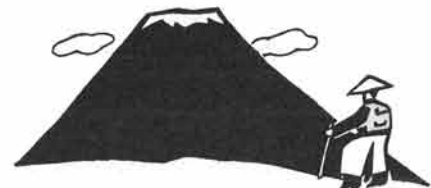


セールスカレンダー

6月~7月

6月		21火	夏至
	水無月	22水	
5 ㊦	世界環境デー 環境週間	23木	オリンピックデー
6月		24金	
7火	計量記念日	25土	
8水		26 ㊦	
9木		27月	
10金	時の記念日	28火	貿易記念日
11土	入梅	29水	
12 ㊦		30木	大はらい
13月		7月	
14火		文月	
15水		1金	国民安全の日 安全週間
16木		2土	半夏生
17金		3 ㊦	
18土		4月	アメリカ独立記念日
19 ㊦	父の日	5火	
20月			

セールス
歳時記



ライダーにとってはちょっと迷惑な、雨の季節の到来です。レインウェアの品揃え、傘立ての準備、濡れたウェアの収納用にビニール袋などを用意しておくのも、お客さまへのちょっとした心配りです。

もうひとつ、6月といえばいよいよボーナスの時期。DMや店頭セールで、ニューモデルのアピールをお願いします。夏の休暇をバイクと一緒に有意義に過ごす——うつつしい雨空を忘れて、ま近に迫った太陽の季節をイメージさせることが、この時期の拡販のポイントです。夏本番に備えての、セールやイベント準備をお忘れなく。

オフロードバイクが広く認識されるためには、乗りこなす楽しさを知ってもらう必要があるでしょうね。例えばオンロードモデルの750ccに乗っているライダーがいるとします。きっとこの人は友達から「おお、大型免許を持って

編集長 打田 稔 氏

〈略歴〉

10代からモトクロス、トライアルに熱中し、以来続く青春時代は現在も進行中。DT-1から始まったバイク歴は10年、その間乗り継いだバイクは30台を超える。ファラオラリー、BAJA1000など海外ラリーの経験も豊富な34歳。



OFF ROAD BIKE MAGAZINE
GARRR
Let's go for it!

月刊ガルル(実業之日本社)
毎月6日発売/¥450



オフロード事情は、
いまアメリカに急接近

オフロード専門誌編集長に聞く
最近オフロード事情

真髓ここにあり

オフロード

ちょっと汗くさく、ちょっと泥くさく、いつもピカピカのオンロードライダーの間に見え隠れしている感のあるオフロードライダーたち。が、しかし、所有感だけで満足することなく、乗りこなすことこそバイクの本当の楽しさと言い切る彼らは、俗に言うミーハーライダーとは確実に一線を画する、真のバイク好きでもあるようです。

そしてDT200R/125Rを筆頭に、セロー225、TW200、さらに未舗装路を十分に意識したTDR250、BW'Sと個性豊かなバイクの登場により、遊び方、楽しみ方も大きく幅を広げて、今シーズン、オフロードスポーツが一気に開花しそうな気配。

今回の特集は、このオフロードの最新傾向を取り上げてみました。どうぞみなさまのお店でも、この夏のご商売にオフロードスポーツを取り入れ、遊びの幅、楽しさの幅を大きく広げてください。



確かに現状では、一部のファンにしか楽しんでもらっていないオ

編集長 高藤 惇 氏

〈略歴〉

オフロード専門誌「BACK OFF」の編集長であり、また女性ライダー台頭の一時代を築いた『レディスバイク』の編集長でもある。マンネリ性からの脱出と、オフロード・メジャー路線への押上げが「BACK OFF」の使命であると自負する。



BACK OFF
DIRT & OFF BIKE MAGAZINE

月刊BACK OFF(学習研究社)
毎月3日発売/¥450



レジャービークルとしての
オフロードバイクに注目

オフロード専門誌編集長に聞く
最近オフロード事情

んだ」と羨ましがられることでしょう。本人もナナハンの所有感に満足するはずです。

ところが、オフロードモデルの600ccに乗っていても、それだけではオーナーは所有感を味わうことはできません。ダートでカウスターをあてられて、初めて友達も認めてくれるし、本人も満足できるんです。持っているだけじゃダメ、これがオフロードバイクだと思えます。ですから、オフロードファンを増やすためには、乗りこなす楽しさの本質も知ってもらわなくてはならないでしょうね。

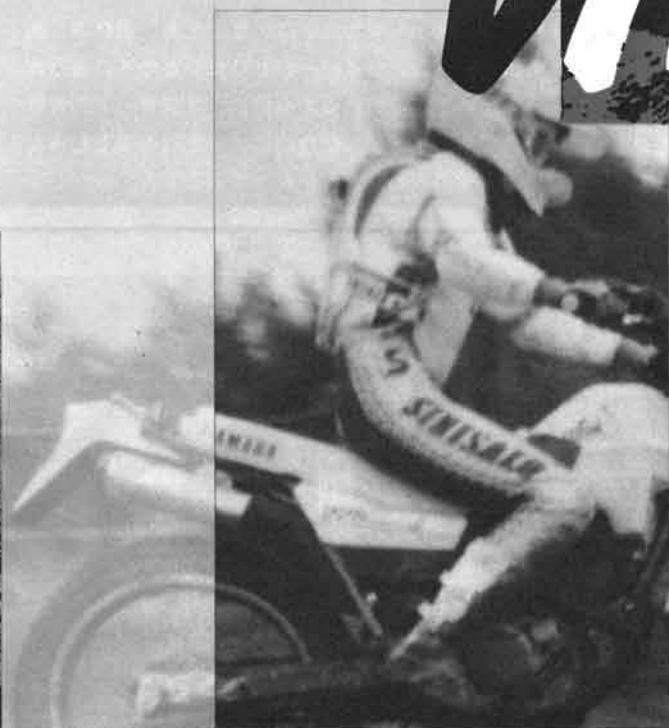
現在、確実にオフロードファンは増えていると言えます。ガール杯のエンデューロには、1500台ものエントリーがありますし、発行部数も15万部まで伸びています。サンデーレース用に2台めのバイクを所有するライダーが増えつつあるのも、明るい材料ですね。これからのオフの方向としては、どんどんアメリカ的になっていくでしょう。ファミリーでモトクロスやトライアルに熱中するとか、バイクに乗って釣りに行くといった新しいスタイルが生まれてくると思われまます。

ユーザーはさらに細分化され、使い方や遊び方は一層広がっていくはず。その使い方、遊び方の部分をメーカーや私たちマスコミ、そして販売店のみなさんが提案していかなくてはなりません。ユーザーをほこりと汗まみれにして、肌でオフの楽しさを味わってもらうことが、オフロードバイクの繁栄につながると思うんです。

特集

楽しさの

VIVA!



フの世界ですが、一度その面白さを知ってもらえば、だれでも夢中になってしまふ魅力を持っています。これは「バイク好き」ならだれでも感じとれることなんです。それでは、いまオンロードモデルに乗っている「バイク好き」に、オフの面白さを伝えるためにはどうすればいいの？——こればかりは、体験してもらう以外に方法はないでしょうね。

販売店のみなさんが、手軽に組める企画としては、やはり林道コースを加えたツーリングではないでしょうか。オフロード車が数台あれば、あとは各々のオンロード車でいいと思うんです。いつものコースを走ったあとに、フラットと林道に立ち寄って、交代で走ってもらう。オフロードファンのお客さんを核にして、コミュニティションを図ると一層楽しいものになるでしょう。

オフを知らない人の中には、汚れを嫌う人がいます。女性に限らずね。だからいきなりモトクロスコースに連れて行ってもダメなんです。軽いダートで汗をかかせて、それでおしまい。ちょっと物足りないな、と思わせる程度にしておけば、次回からは自分のほうから誘ってきますよ。

いま、オフロードバイクは、レジャービークルの方向へ向かいつつあります。スポーツとしてのバイクももちろん残っていくでしょうが、ユーザーの意識の中では遊びの道具として捉えられるようになるはず。トレッキング・トライアルなんて、伸びていきそうな遊びの分野ですね。

VIVA! オフロード

楽しみ方、こんなにいっぱい



オフロードスポーツとひと口に言っても、遊び方、楽しみ方は千差万別。ライダーひとりにひとつずつ違った楽しみ方があると言われるくらいに、オフロードの世界は広いのです。それぞれ个性的にオフ走行を楽しむみなさんに、快感のさわりをうかがってみました。

ビギナー

カラダ中泥だらけになって 100%遊べるのが最高!!

FZR750オーナーの神原さん。一見オンロード派と思える彼女ですが、実は大のオフロードファンなのです。

「ビデオでスーパーバイクrossを観てね、それで好きになっちゃったの。その直後に友達に誘われて、モトクロスコースに遊びに行ったんです。オフの面白さですか？ 自分でバイクを操ってるといふ実感があるところかな。バイクまかせじゃ走れないってところが最高ね」

TZR250、FZR75

0とロードスポーツを乗り継いできた彼女に、オンロードとの違いについてうかがいました。

「オンロードではオシャレな格好で気持ちよく走りたいたいけど、オフを走る時は全く気にしない。それこそ体中を泥だらけにして、思い切り遊んじやう。ヘルメットを脱いだ時、汗がスーッと乾く感じ、アレが最高に気持ちいい。あんな感覚ってオンロードじゃ味わえないでしょ」



神原好恵さん
(19歳/学生)

月曜日から金曜日まではTZR125でオンロード、週末はYZ80でオフロードランと、2台の所有車を使い分けバイクライフを楽しんでいる藤原さん。オフロードの経験は3カ月、面白さが判りはじめた頃です。

「オフロードを始めたのは、アルバイト先のショップが開くオフロード走行会に参加してから。その頃はクラッチを継ぐことさえできなかったYZ80を、いまでは乗りこなせるようになりました。こうなったらもう病みつきですよ」

オン&オフ、両方の楽しみを知っている藤原さんに、あえてオフロードの魅力をうかがってみました。

「オフは誰にでも楽しめるけど、テクニクの差がオン以上に出ることでですね。僕がそうだったように、初心者はずっと走らせることもできない。だけど実力がつけば、人間技とは思えない走りができるでしょ、スーパークロスみたいなね。努力しないと何もできない。それが最大の魅力ですよ」



ウィークエンドは オフロード派に変身!!

藤沢 敏さん
(18歳/高校生)



オン&オフ派



清水ゆかりさん
(20歳/学生)

ヤマハ関西・YSPレディス主催のオフロードライディングスクールに参加した清水さん。MXパンツにブーツ、ウエアなどでバッチリ決めてきました。長い間オフに乗っているのかと思ったら……

「えっ、私オフロード走るの初めてなんです。実は私、友人に誘われて、今度エンデューロレースに出ることになったって。今日は練習のつもりで参加してみたいです」

普段はTZR1250を街乗りに使っている清水さん。オフロード初体験後の感想は……

「恐いとは思いませんけど、バランスをとるのが難しいですね。転んでもバイクは壊れないし、土の上だったら体も痛くない。思い切り楽しめま

転んでも
バイクが壊れないから
思い切り楽しめます



すね」

と、すっかりオフロードが気に入った様子。

「これからも、もっとオフの練習をして、早く林道ツーリングに行ったり、エンデューロレースにどんどん参加したいですね。今度のレース、今から楽しみですよ」



「エンデューロに一度だけ出場したことがあります。あとはほとんど街乗りですね。前にオンロードモデルに乗っていたこともあるんですけど、舗装路での走行性も、いまのDT200Rの方が上だと確信を持っています」

「街中でのトレールの使い勝手の良さは、いまやライダーなら誰だって知っていますよ。発進加速だったらレーサーレブリカより速い。しかも安いし、野性味があつて男っぽい。時代はDT200Rですよ」

オンロードの走行性能も 必要にして十分です

大西義彦さん
(26歳/会社員)

街乗り派

ツーリング派



一度林道ツーリングを体験したら 誰だつてとりまに なりますよ

網野武明さん
(21歳/大学生)



持っていく、眺めのいい場所でコーヒーを一杯飲むんです。そんな時、「ああ、生きてるんだ」って感じますね」

網野さんの地図には、自分で発見した林道がマーカーでチェックされ、今ではその数も30本を超えています。枝道を見つけては、地図を頼りに前進するのだそうです。まさしく、夢とロマン、そして冒険心。そのものです。

「ライダーであるということ、オンもオフも自由に楽しめることなんです。それなのに、大半のオンロードファンはオフの楽しさに気がついてない。アスファルトの上しか走らないんじゃ、遊びの世界が狭すぎますよ。」

普段は大学への足として街中を走っていますが、休日の林道に出た時、新芽が出ていたり、花が一面に咲いていたりする風景との出会い、沢の水の流れる音を一度体験すると、オフロードツーリングのとりこになってしまいます」

毎週末の林道ツーリングで網野さんの写真ストック、そして地図に示された林道の数は、これからもさらに増え続けていくことでしょう。

16歳の時、初めて乗ったバイクがDT50という網野さん。DT50との出会いによって、趣味で撮り続けていた写真のフィールドが、人物から自然へ、そして風景へと変わってきたそうです。

現在はセロー225を愛車として、ハンドルバーに三脚をくくりつけ、ウェストバッグにはカメラ、そして2500分の1の地図を持ち、休日となると林道へと出掛けるバイクライフを送っています。

「オフロードの楽しみは、何といっても年中無休で楽しめるんですよね。休日の撮影ツーリングは往復で100kmほど走りますが、必ず水筒とコッヘル、それにストーブを



何歳になってもいい汗かける それがオフロードの魅力です

高橋貞博さん

(31歳/会社社長)

「もともとカートレースに夢中になっていて、競争すること、運転することは大好きだったんです。モトクロスを始めたのは確か24歳の時、当時は今よりもモトクロスが盛んで、レース仲間と各地の大会を転戦していました」

「どんなに忙しくても、日曜日の午前中は河原でひと汗流すという高橋さん。この日も、



2時間の練習を済ませると、慌ただしく仕事へと戻っていききました。

「モトクロスの魅力は、何歳になってもいい汗をかけるところです。ロードレースじゃ、こっちはいきませんからね。お金をかけずに、しかも30歳を過ぎた今でも十分に楽しめる。

「どんなに素敵なスポーツはないですよ」

20代の頃は関東選手権、全日本選手権をYZ250で走りまわっていた高橋さんも、今はサンデーライダーとしてクラブの仲間との時間を楽しんでいます。

「先輩の指導をしたりしながら走るのも、けっこう楽しいものですよ」



もうちょっと上手になったら エンデューロに挑戦したいな

「目標はエンデューロレース出場です。まだまだフラットなコースでの練習しかしてませんが、少しずつ上手にな

っていくのが自分でも分かっています」

400ccレーサーレブリカDT200Rの2台を所有する相原さんは、いまオフロードレースに夢中です。ロードモデル一本槍であった彼女をオフに振り向かせたのは、行きつけのショップのご主人。オフロードYRS参加を強くすすめた結果です。

「DT200Rを買ったのは、初めてオフを走って間もなく。今まで知らなかった楽しみを知った喜びでいっぱいでした。オフロードの魅力はそこだと思っんです。ウラの楽しみって言うのかな、皆が気づかない私だけの楽しみ、ね」

相原由紀江さん
(27歳/会社員)



VIVA! オフロード

お客さまを育て、 お店を育てる オフロードスポーツ

最後はオフロードスポーツを積極的に取り入れ、需要の喚起を図る販売店さんたちの活動をご紹介します。ご商売にとっても魅力いっぱいのオフロード活動、どうぞご参考にしてください。

食わず嫌いのお客さんには まず味を知ってもらわなくては

YSP草加南(埼玉草加市/今田悦靖社長)

「実際の販売台数から言っても、ロードスポーツがかなりのウエイトを占めているのがウチの現状です。割合からすると、7対3でオンロード車ですね。ではなぜオフを伸ばしていきたいと考えているのか?これは私の持論なんですけど、オフのユーザーに浮気性はないと考えるからなんです。何かあった時は、必ず買った店に戻ってくる。つまり計算できるお客さんとして根づいてくれるからなんです」

「YSP草加南」さんは、'87年7月にオープンしたフレッシュなお店。しかし、



ユニークな拡販策でオフロード客を集める。オフロードに強いお店としてお客さまから厚い信頼を得ています。今田社長がオフロード・ユーザーを集めるための策として、真っ先に実践したのが「サンデー・オフロード教室」です。



トレールモデルのバックグラウンドには、アウトドア・ムードいっぱいの壁紙を貼るなどして、臨場感を高めている

た。これはオフロード・ユーザーの固定化と、オンロード・ユーザーにもオフの楽しさを知ってもらおうという発想から生まれたものです。今でも毎週日曜日、朝7時から約10名のお客さまを集めて、お店から車で約20分の河川敷で欠かさず開催しています。

「オンのお客さんは、もちろん教室で乗るバイクを持っていないわけですよ。ですから、下取ったDT200Rを整備して、練習車として用意しています。教えるのは私とクラブ員。運動量はなるべく軽くして、最初はコミュニケーションづくり」に努めるのがコツですね」



オフロード教室では、参加者の意志にまかせて自由に走らせる。アドバイスするのは休憩時間、参加者からも質問がポンポンと飛び出す

得のための活動を実践するかたわら、日常のご商売のなかでも、オフ拡大のために気を配られています。

「店頭のニューモデルのなかに、クラブ員から預かっているYZをさりげなく並べておくようにしています。」

そうすることで、店の前を通ったオフロード・ファンは一目置いてくれるようになるんです。

食わず嫌いのオンロード派には、まずオフロードの味を知ってもらわなくてはなりません。オフロード教室もそのひとつですが、舗装路での走行性能も知ってもらうために、代車は意図的にトレールを用意しています。お客さんには悪いけど、乗るバイクがトレールしかないんだったら、それに乗るしかないですからね。(笑) そのなかで何か感じてくれたら、しめたもんですよ」

ユニークな拡販策で、確実にオフロード販売を伸ばす「YSP草加南」さん。目標の「オンロード50%、オフロード50%」達成も、そう遠くはないようです。



拡販の秘訣は お店にオフとの接点がたくさんあること

YSP 仙台中央 (宮城県仙台市 / 佐々木和行社長)

社長自身モトクロス、トライアルの経験があり、オフロードの知識が深いことでオフロードファンのお客さまが集まり、現在オフロード客が約80名。その内、常連客として約30名が、ツーリングに、エンデューロレースにとオフを楽しんでいます。

そして、オフロードユーザーの2割が女性客ということも、『YSP 仙台中央』さんの間口の広さを物語っています。

「現在全日本、東北選手権のモトクロス、

トライアルに出場する選手がうちには23名ほどいますが、やはりそれは頂点なんですね。

底辺を広げようとするならば楽しさを伝えたいとだめで、底辺が広がってこそいろいろなオフの遊びができるのです」

この底辺を広げる活動を企画するうえでの基本は、「オフの自信をつけてあげる」こと。この考えを中心に生まれたのが、「お楽しみトライアルごっこ」とも言うべき年3回のイベントでした。

「朝8時に河原へDT200R / 125R、セロー225の一般ユーザーに声をかけて集まってもらい、河原の地形や流木を利用して、トライアルごっこをするのです。

オフロードというとアクセル全開のモトクロスのイメージや、1m以上のステアケースをクリアするハテナクションのトライアルを思い浮かべるお客さんが多いのですが、それはあくまでも頂点であって、ビギナーにはもっとベーシックな、オフの走りを教えてあげることが必要です。この、トライアルごっこの遊びを通じてオフを走る自信をつけることが大切なのです」

このようなイベントだけでなく、店内には、オフロード用品を充実させたオフロードコーナー、そしてお客さまコーナーにも林道マップとオフロードアルバムがあり、オフロードの情報が、店内いた

るところで目に入ります。

「今はオンロードメインの市場ですから、オンは自然に売れるんですね。そんな中で、オンロードユーザーの目をオフに持っていくには、お店にオフの接点がたくさんあることが大切だと思います。

林道マップがあつてツーリングから帰ってきたオフロードファンが「雪がまだ残っていた」、もう新緑がまぶしくって」なんて地図で説明しているのをオンロードのお客さまが聞くとやはり行ってみたくなるものです。このコミュニケーションが大切なんです」

10代から50代のオフロードファンが集まる『YSP 仙台中央』さん。佐々木社長ご自身もオフロードへの夢を膨らませて、昨年はお客さまとチームを組みメキシコの「バハ1000マイルエンデューロレース」を完走するなど、積極的にオフを楽しんでいます。

昨年はお客さまと「バハ1000マイルエンデューロレース」にエントリー



お客さまと林道ツーリングを楽しむ。中央が佐々木社長

河原での「お楽しみトライアルごっこ」



オフライで お客さまと一緒にステップアップ

YOU SHOP ステップII (大阪府枚方市/小島岳社長)

モーターサイクルの幅広い楽しさを手軽に体験できるものとして、最近再び注目を集めているオフロードイベント。MP12レースやスクーターレースに負けない勢いで各地で開催されていますが、ヤマハ関西株でも、YESSSオフロード競技大会を主催。今年には誰にでも楽しめるようにと新たに3クラスを増設し、

昨年以上の盛りあがりを図っています。そんな競技会への参加を、お店の活動の一環として積極的に行っているのが「ステップII」さんです。誰にでも気軽に楽しめるようにと、ビジネスクラスやスクータークラスを中心に参加してきましたが、最近ではさらに独自のイベントとして、オフロードライディングスクールの



第2回のオフライにて。バイクにまたがるのは、MXジュニアライセンスを持つ小島社長の弟、聡さん



オフロード競技会で獲得したトロフィーの数々

小島社長(中央)を囲んで。「オフ嫌いはひとりもいません!」



開催に取り組み始めました。「ステップII」さんは去年の7月にオープンし、今年の1月にYOU SHOPになられたばかりの若いお店。当然ながら新規客がほとんど。客層としては高校生、大学生がメインです。

「オフロードのイベントを開くには恵まれた環境にあると思います。淀川河川敷、京都の山奥にあるコースや林道など、店から数十分の所にオフロードエリアが広がってますからね」

少しでもバイクの楽しさを解ってもらいたい、と始めた小島社長のオフライとは……

「初めてオフに乗るお客さんがほとんどなので、安全を第一に考え基本が中心ですが、楽しかったという満足感を与えるのに、焼肉パーティーやタイムトライアルなど遊びの要素も組み込んでいます。オフライのおかげで、それまで「オフな

自らがオフロードファンである小島社長。走り終ったあとのポカリスエットほどうまいものはないですよ」



んて」と言っていた高校生は今はい人もいません」

ユーザーの固定化にも大きな役割を果たしているオフライですが、最近では実際に結びつき始めたとか。

「といっても高校生にとって、2台目のバイクは経済的にきついですからね。

それでも先日は、オフライを通してエンデューロに興味を持ったユーザーがニードT125Rを注文してくれました。オフライのレベルがアップすれば、こういったケースはさらに増えるでしょう」ユーザーの年齢層から、大きな数字としては表れにくいオフライの効果ですが、「ユーザーが成長し2台目のバイクが買える年齢になれば、その成果はもっとハッキリしてくるでしょう」

オフライを通して、お客さんと一緒に店を育てる小島社長は、早くも次回の開催を計画中です。



人に訊け、街に訊け、

若者たちは、いま…

高校生の仲間意識

広く浅くなるつきあい 女子より男子にクツキリ

一輪車の販売には、ライダー仲間の交流の楽しさが、二輪車そのものの楽しみと同じくらい大切なセールスポイントになることは、みなさまご存知のとおりです。

そこで今回は、高校生の仲間意識について、つきあい方とが友人の条件といった点を中心にさぐってみました。

1 グラフ

親友の人数(高校生)

	いない	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	(%)
男	9.1						41.4	
女	3.7						28.8	

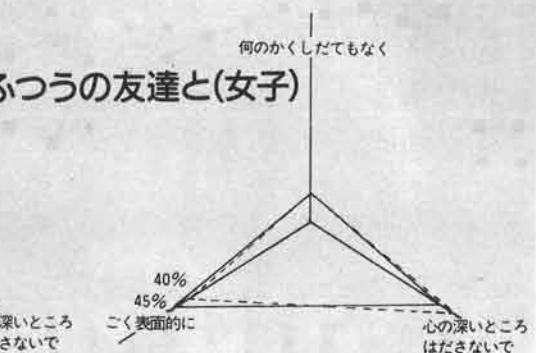
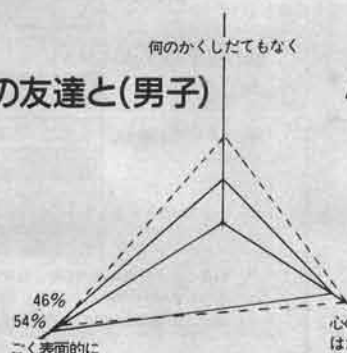
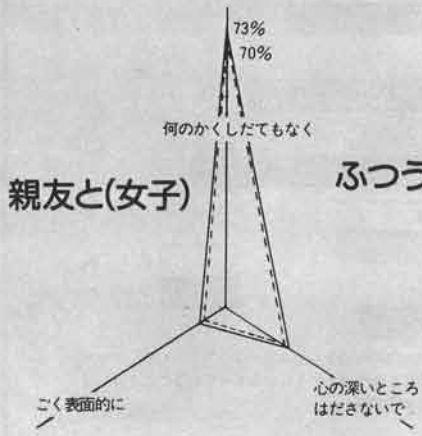
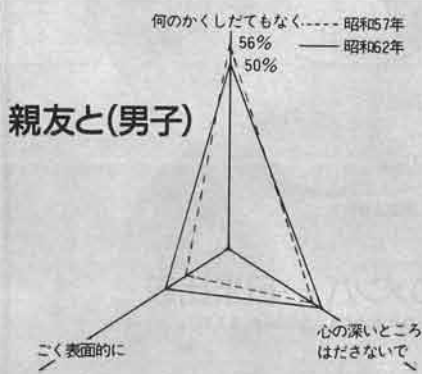
(日本青少年研究所：「日米高校生友人関係調査」より)

最近の若者の傾向として、「短小軽薄」とはよく言われることですが、友人とのつきあいにもその傾向が表われています。グラフ①は、「多くの時間一緒にいる人、あなたの興味や感情をよく理解してくれる人、ほかの人に言わないことを言える人、心配ごとを相談できる人、を親友とすると、そういう人は何人いますか？」とたずねたもの。親友が6人以上いると答えた高校生が、男子で約4割、女子で約3割もいます。

ひと昔前は、親友は1〜3人というの

2 グラフ

友達とのつきあいかた (中学生と高校生)



(NHK放送文化調査研究所：第2回「中学生・高校生の生活と意識」調査より)

が相場でした。6人以上もいるなんて、それは親友とはいえないのではないかと旧人類は感じてしまいます。

グラフ②は、中学生と高校生の友達とのつきあい方をみたものです。三角形が上にとがっているほど親密なつきあいが多いことを示し、左下がとがっているほど表面的なつきあいが多いことを示しています。

点線は昭和57年、実線は昨年の調査結果ですが、どのグラフも上のとがり方が少なくなり、下が広がっています。つまり、親密なつきあいが減って浅いつきあが増えているということです。

また、①②のグラフとも、男女間であり差があることを示しています。女子は男子に比べて親友の人数が少なく、親密なつきあいをしているのに、男子は逆で、しかも親友がいない者が約1割もいます。

人に訊け、街に訊け、

若者たちは、いま…

友人の半分は学校関係

高校にしろ大学にしろ、学校は在学中の若者の生活の中心。したがってグラフ③のとおり友人と知りあつたきっかけも学校関係が約半分を占めています。

この場合も男女の差が大きく、男子は女子より幼なじみと趣味を通じての友人がかなり多くなっています。同じ調査によると、この二つの傾向は年代にかかわらずに続くとのこと。幼なじみや趣味を通じての友人は、生活環境が違うことが多いわけですから、このあたりにも男子のつきあいのほうが表面的なことの要因があるのかもしれない。

協調性重視の友人感

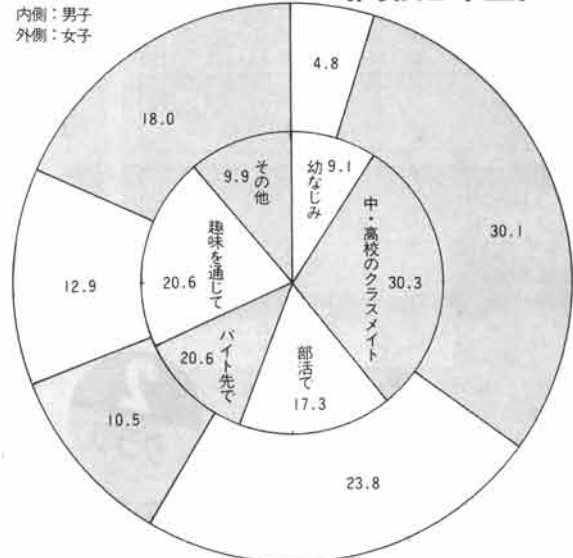
グラフ④は、友人としての性質に対するプラス評価とマイナス評価を示しています。項目につけてある番号は、男女合わせた場合の順位です。

いずれも、もつともな評価ですが、上位を見ると協調性の有無に関する性質が多いのが目につきます。

また、男子より女子のほうが全体に重視する比率が高く、注文が多いことを示しているものもなくなかなかありません。ごくおおまかにいうと、男子は女子よりユーモアと元気さ、冒険心を大切に、寛大な人より気前のよい人が好きなのです。逆に信頼できない、攻撃的な人を嫌う率は女子より高く、気分屋であることはあまり気にならないようです。

3 グラフ

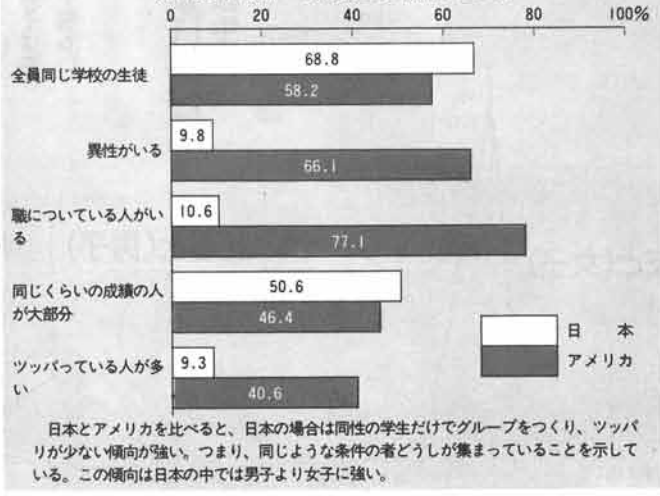
友達と知りあつたきっかけ (高校3年生)



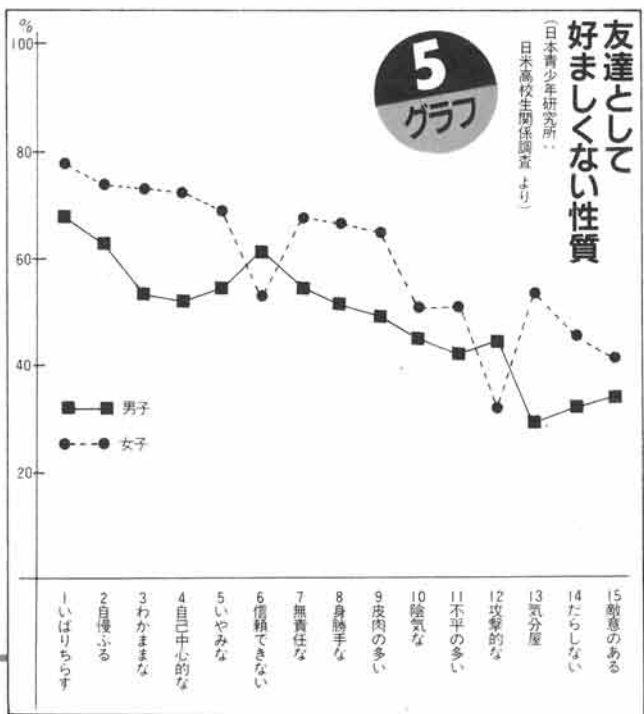
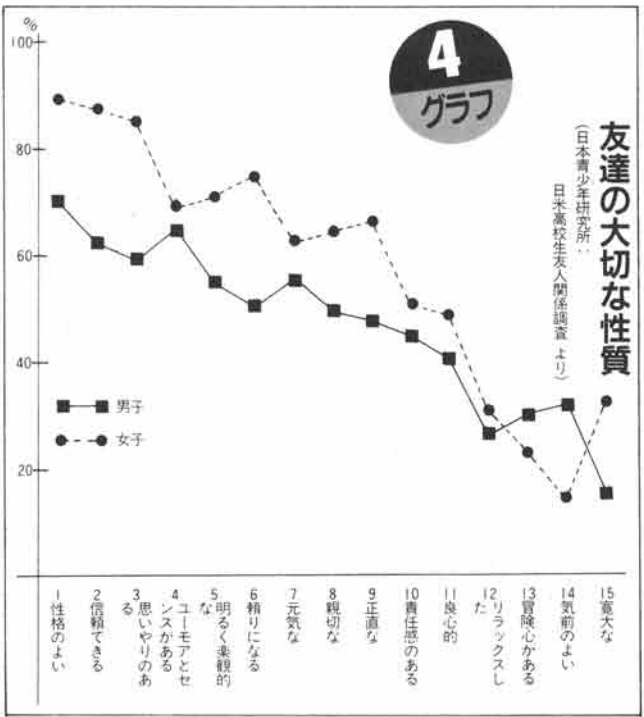
(博報堂生活総合研究所:「若者」調査より)

友人グループのメンバー・日米比較

(日本青少年研究所:「日米高校生友人関係調査」より)



日本とアメリカを比べると、日本の場合は同性の学生だけでグループをつくり、ツッパリが少ない傾向が強い、つまり、同じような条件の者どうしが集まっていることを示している。この傾向は日本の中では男子より女子に強い。



もっと友達と一緒にいたい

今の若者に限らず、10代の頃は友人を誰よりも大切に思うもの。グラフ⑥⑦はそのことを示しています。

高校3年生では、仲間といるほうが落ちつく者が約6割、仲間と行動することが多い者が約7割を占めます。若い社会人の場合と比べてみると、いかに友人が重要な位置にあるかがわかります。(グラフ⑥)

⑦を見ていくと、女子のほうが友達とのつながりが強く、助け合いの精神に富んでいるように思われます。

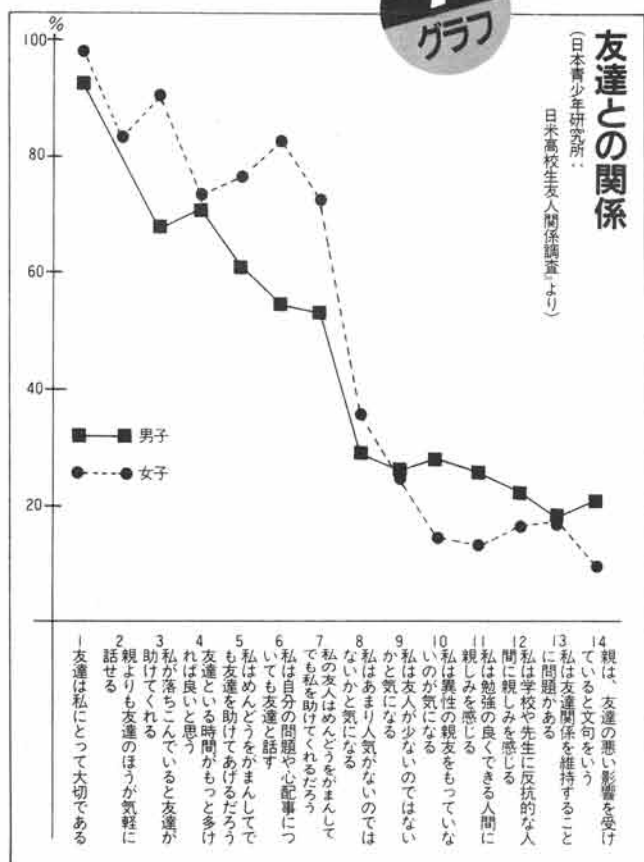
また友達ともっと一緒にいたい、親より友達が話しやすい、友人が少ないのではないかと、友人関係を維持することに問題があるなどの点で男女の差がなくなっています。このことは、つきあい方は違っている大切さに変わりはないことを示しているのではないのでしょうか。

7 グラフ

友達との関係

(日本青少年研究所)

日米高校生友人関係調査(より)



6 グラフ

友達づきあい

(博報堂生活総合研究所：若者調査より)

	一人で行動する	仲間と行動する	一人でいるほうが落ちつく	仲間といるほうが落ちつく	友達づきあいは浅くても広いほうが良い	友達づきあいは狭くても深いほうが良い
高校3年生 男子	32.2	67.8	43.5	56.5	28.7	71.3
高校3年生 女子	21.6	76.6	41.4	58.6	21.6	78.4
大卒社会人(男性・23歳未満)	1.8	60.8	65.8	31.7	30.8	66.7
			2.5	2.5		



井深重夫クン



糸井成広クン



今野幹也クン

今野幹也クン
 糸井成広クン
 井深重夫クン
 (東京・成漢高校3年生)
 今野「友達っていいも、まずクラスに40人くらいいるし……」
 糸井「そんなこといったら100人以上になっちゃう。一緒に何かするのは40人くらいだよ」
 井深「僕は20人くらい」
 今野「じゃあ30人だ。(笑)」
 親友は3人かな。親に言えない相談ができるやつ、免停になったときも、まず友達に相談する」
 井深「親友といっても言えないこともあるよね。恋人のことや暗い過去なんか言わない。お笑いでは話すけど」
 糸井「そうだね、僕は10人くらいいるけど落ちこんでるときはなぐさめてあげる」
 今野「昔と比べて広く浅くなっているといわれるけど、僕もそう思う。友達いっぱいいるもの。友達との条件？ 話があうこと、生活環境が似ていること、年が近いこと。年の差は2歳くらいまでだね」

友人関係は浅く広くなっていると僕達も思う

情報スクランブル

お忙しい販売店さんのための情報アンテナ

BOOKS

●気軽にアウトドアライフ
「ちよっと森にいます」

アウトドアライフの楽しさと効用はすでに広く認められていますが、まったく経験のない人にはとく難しく感じを与えがちです。この本はそういうひっこみ思案の人にぴったりの入門書です。

めんどろなことはなるべく避け、気持ちのいい環境、楽しい遊び、うまい食事を追求するお手軽精神と、豊



富な写真が初心者を買込に誘います。二輪車の楽しみ方に、新しい遊びの可能性を提案する一冊になるでしょう。

B5版96ページ 1500円 山海堂

MUSIC

●明るく調子のいいオールディーズ

『ALL AMERICAN HIT POPS ⑧』 シングル・ヒット・バラード オール・アメリカン・ヒット・ポップスのシリーズ第8集。50年代、60年代の曲は、今のものと比べると単純で明るいムードが強いのですが、なかでも調子のいいものを集めた一枚です。ハートブレイク・ホテル/ダイナマイト/恋の一番列車/16トン/リバイ・バランスを射つた男 etc. どれをとっても元気で前向き。まさにアメリカという感じがします。なお



『16トン』は最近の映画『ブルメタル・ジャケット』でかえ歌で登場していました。

2600円(CD) タクスフォース

COMMODITY

●地図上の距離を測定

「電卓つきメジャー」 ツーリングの企画を立てるとき、走行距離の算出に苦労なされたことはありませんか。主要道はともかく、地図に距離がのっていない道の場合、はかりめんどろなものですか。

このメジャーは、左スミにコロがついており、地図上の道路を転がす

ことよって距離を測ります。あらかじめ縮尺を入力しておけば、自動的に実際の距離を表示。キロメートルのほか、マイル表示もできます。始点や終点を正確にコロで押さえられるかどうかによって、多少の誤差が生じますが、コロの回転と距離の関係は正確なようです。

そのほか実物の寸法を測る機能と電卓の機能つき。

8.5cm x 5.3cm 4000円 オリエン時計



●猫の手も借りた方に
「ニヤンタン」



オフィスで使っても目立たない、というので、かわいいデザインのマッサージ機が人気を呼んでいます。これはそのバリエーションです。

猫の手のひらが振動してマッサージしてくれま。重症の肩こりにはちよっと頼りないパワーですが、気分転換には十分。店頭では、女子高生たちが「かわいい!」「気持ちいい!」などと遊んでいました。お客さまコーナーの話題に、おひとついかがですか。

長さ17cm 1280円 GAKKEN

YAMAHA Coordinated Look 1988

感謝を込めて、ヤマハから

お店の販促や、お客さまのサービスに、お役立てください

しめり気を帯びた風の中にも、次第に強くなる熱気を感じるようになりま。もうすぐ夏、若者の季節。ツーリングや各種イベントの準備はすすめられているでしょうか。お客さまの遊びごころを刺激するしかけは十分でしょうか。アウトドアライフをハイセンスに演出するグッズをご紹介します。夏に向けての楽しげなムードづくりにご活用ください。



●ハーフタイム・クラブ(No210 /5,500円) ナイフやフォーク、スプーンのほかハサミやまな板、ワインオープナーなどをコンパクトにセット。快適なアウトドアクッキングを約束します。



●アーミーナイフ(チャンピオン)(No196/10,000円) 男の子なら誰でも目を輝かせるアーミーナイフのナンバー・1。スイス軍公認のビクトリノックス社製の精密な機構が、わずか160gの重量にまとめられています。



●シャトル・タウン(No209/4,000円) とてもシャープでハイテックな魔法ビンです。もちろん保温保冷機能はバッチリ。スポーティな印象がライダーの目をひきつけます。

※価格は参考小売価格です。詳しくは担当ヤマハマにお問合わせください。

ヤマハニュース
300号記念特集

Better Communication

300

ヤマハニュース No.1



- 豊岡浅間レース
- 乗鞍上高地ツーリングコースを行く
- ヤマハオートバイ・ヨーロッパを乗りあむ記

『ヤマハニュース』300号を迎え

ヤマハ発動機株式会社 常務取締役 小宮 功

商戦たけなわの折り、販売店のみなさまにはヤマハ製品の拡販に多大のご尽力をたまわり厚く御礼申し上げます。

さて、販売店のみなさまと私どもヤマハを結ぶコミニケーション誌として昭和34年10月以来発行をつづけてまいりました本誌『ヤマハニュース』が、本号をもちましてちょうど「300号」を数えることとなりました。

この『ヤマハニュース』300号までの道のりは、わが国の三輪業界にとりましては、そのままバイクの市民権確立への29年間であり、同時にヤマハにとってもモーターサイクルを中軸に幅広い事業分野を擁する国際企業への成長の過程そのものでした。

ご承知のとおり、その過程は決して順風満帆なものではありません。しかし、どんな苦難の時にも一号として欠かすことなく発行をつづけることができましたことは、きわめて意義深いことと申せましょう。

折りしも、今年1988年のヤマハは「クオリティ&コミュニケーション」を合言葉に、お客さまと、また販売店のみなさまとの、より緊密なコミュニケーションづくりと、より質の高いサービスの提供をめざささまざまな活動をくりひろげているところでもあります。

こうしたヤマハの伝統ともいえる三位一体のコミュニケーションづくりの中核として、今後ともこの『ヤマハニュース』を、存分に活用くださいますようお願い申し上げます。

『天気の良い日はバイクに乗ろう』から 『バイクは心の新大陸』まで、 ヤマハ需要創造活動の歴史

29年間『ヤマハニュース』を通じてヤマハが、一貫して発信しつづけているのは、バイクのある豊かな暮らしを広げよう、という呼びかけであり、需要を創り、市場を育てようというヤマハの基本的な姿勢。300号を機会に、現在のすべての活動に通じるその過程をふり返ってみよう。

新しい二輪車時代を築く ヤマハ

- 70年1月、本誌79号の冒頭に掲げられた70年ヤマハのスローガンは、『新しい二輪車時代を築くヤマハ』。そこには——
- 魅力ある新商品の開発……スポーツ、トレールシリーズによる差別化
- 原付免許教室の充実……新しい需要層の開拓
- トレール教室の発展……オートバイの新しい楽しさの普及



——などなど、12項目にわたる具体的な活動内容もあわせて紹介されています。折りしも、'68年に登場した『ヤマハトレールD.T.』が爆発的なブームを呼び、同年からスタートしたトレール教室を通じて、『トレールライディング』（オフロードラン）というオートバイの新しい楽しみが、ユーザーの間に急速に浸透しはじめた時でもありました。

つまり、1955年の創業以来、ひときわ活発なレース活動を通じて『高性能・高品質』の商品づくりにまい進してきたヤマハは、『70年代へのスタートに当って、新たに『需要創造活動』普及活動』を、他に先がけて最も重要な活動テーマに掲げたのです。

「ご承知のとおり需要創造活動とは、オートバイの持つ利便性、効用性、経済性、爽快さやスポーツ性といった大きな魅力を、さまざまな活動を通じて幅広く普及し、広大な裾野を持つ確固たる需要ピラミッドを構築していこうというもの。

『需要はみずからの手で創造するもの』という、ヤマハの伝統的な意識が、ヤマハマンひとりひとりの間に深く浸透しはじめたのも、この時期からのことです。

限りなくモータースポーツの世界を 拓くヤマハ

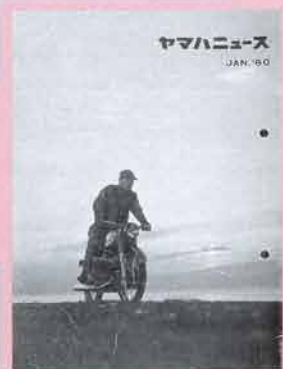
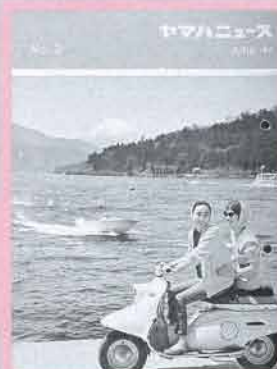
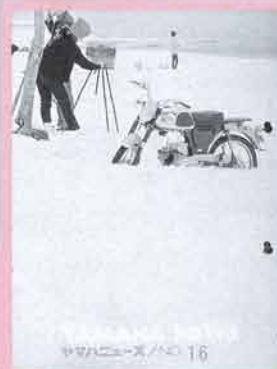
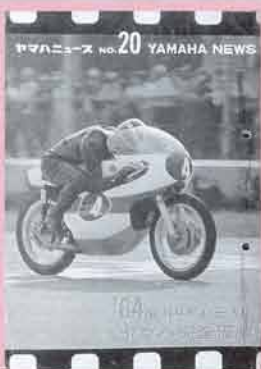
『限りなくモータースポーツの世界を広げるヤマハ』——70年代の幕開けとともに、こうしてスタートを切ったヤマハの需要創造活動は、時代背景を受けて当初

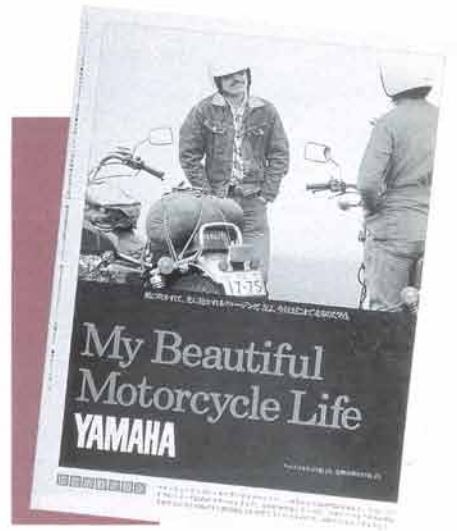


モータースポーツを中心に展開されてきました。'69年のトレール教室の発足、'70年から始まったトレールランドの開設やTCMSの愛称で親しまれたトレール杯争奪モトクロス選手権シリーズの全国開催は、ほぼ時を同じくして開始されたユーザー組織・ヤマハSL（スポーツ・レジャー）クラブの活動と相まってその輪を大きく広げていったのです。

そして、こうしたスポーツレジャー活動の集大成として'72年と'73年には富士スピードウェイにおいてYGSF（ヤマハ・グランド・スポーツ・フェスティバル）が大盛況のうちに開催されたことは、多くの販売店さんにとっても記憶に新しいところでしょう。

こうした一連の活動は、その後にはわかにも高まってきた二輪車安全運転推進活動をも加えてさらに拡大し、『80年代前半のスポーツバイクの一大ブームへと結びつき、その中で'84年に誕生した新しいユーザー組織YESSの活動へと受けつがれているのです。





ビュートイフル・モーターサイクルワールド

また、今日のスポーツバイクの定着、市民権獲得の原動力となった活動として忘れてならないのが79年からスタートしたスポーツバイクの需要創造マス広告キャンペーンです。当時にわかに台頭しはじめていたヤングアダルト層を対象に『マイ・ビュートイフル・モーターサイクルワールド』のスローガンで、スポーツバイクのある豊かな暮らしを提唱したこのキャンペーンは、81年には『人間にいちばん近い乗りものなんだ。ヤマハ・スポーツバイク』の合言葉と『50 mph』の発刊によってさらにパワーアップ。81年からのYSPの発足とも相まって昨年から『バイクは心の新大陸』まで、ヤング、アダルト、男性、女性といった枠を越えて、スポーツバイク愛好者を一気に拡大していることは、周知のとおりです。

天気の良い日はバイクに乗ろう

一方、スポーツとしてのバイクの世界の普及とあわせて展開され、総合的なバイクの需要創造、二輪車の市民権確立に力を発揮してきたのが、ファミリーバイ



ク、ソフトバイク、スクーターを中心に進められてきた。バイクのある暮らしの提唱です。

69年からスタートした需要創造活動の『原点』『ヤマハ原付免許教室』は、当初郡部の婦人層を中心に、バイク（当時はヤマハ・メイト）のある行動的な暮らしを実現させていただきに評判を高めていきました。そして73年、ターゲットは女性という当時としては画期的なコンセプトのもとに開発された『ヤマハ・チャビイ』の登場は、この、バイクのある暮らしの浸透に一気に拍車をかけることになったのです。

そうした中で、若い女性や婦人など。それまでバイクとは全く無縁と考えられていた人びとを対象に、バイクの持つ便利さ、手軽さ、自由さ、経済性などをより多くの人びとに理解していただき健康的で明るい日常生活に広く役立ようというヤマハの願いは、74年の『天気の良い日はバイクに乗ろう』のスローガンに集

約され、さらに急ピッチで広がって行くことになりました。『チャビイ』という商品と『原付免許教室』や『乗り方教室』という活動が一体となってみごとに花開かせた。バイクのある豊かな暮らし、これをさらに大きくのらせたのが、77年に登場した、やさしい乗りもの『ヤマハ・パツソル』であることは、いうまでもありません。

以来76年『バイクでニューライフ』、77年『グッド・バイク・フォー・グッド・ライフ』、79年『街は小さな小さなクルマ・マガがいい』……87年『好奇心で動く乗りものです、ヤマハ・スクーター』まで、年とともに商品は変わり、活動の内容やスローガンは変わっても、バイクのある暮らしの提唱は、いまま変わることなく続けられています。『バイクの市民権の確立』『人びとの日常生活へのバイクの定着』——ヤマハの伝統ともいえる需要創造活動こそ、二輪車の安定成長に欠かせぬ活動という信念からです。

街は小さな小さなクルマがいい。



ヤマハとともに歩む



伊豆・丸野山で開かれたモトクロスレースにて

いつの時代も「遊び心」を忘れない
そんな姿勢が気に入ってます

大月信和 社長
(YSP京葉)



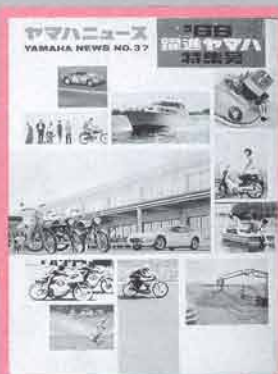
●昭和20年、東京生れ●乗車歴29年
※生家が牛乳店で、配達用のバイクと物心ついた頃から親しむ。14才でレースに初参加し、翌年には入賞を果たすほどの才能を発揮。ロードレース、モトクロス、ダートトラックとあらゆる二輪競技を体験し、昭和43年、DT-1発売の年にヤマハとインストラクター契約。昭和47年に二輪販売店を創業するかわり、インストラクター兼トリアルライダーとしても活躍。現在の店舗はY.S.P.1号店でもある。

ヤマハの特徴を僕なりの解釈でいわせてもらおうと、いつもバイクの楽しみ方をユーザーと一緒に学んできたメーカーだと思っね。
昭和40年代に入ると、バイクは生活のための単なる交通手段から、急に遊ぶための道具的な要素を強めだしてね。ちょうどその頃、僕はインストラクターという立場でヤマハとかかわったんですが、物づくりと普及活動をセットで考えていたメーカーっていうのはヤマハだけでした。

オールヤマハで見ると、今の「ヤマハブランド」は若い人たちの遊びの世界をすべてカバーしている。これは他のメーカーにない楽しさだし、オールシーズン楽しめる商品がキチッと揃っているのもヤマハだけ。
これは商売についても、遊びについても、無限の広がりを持っているということ。遊びっていうシッカリした絆がありますから、もちろん今後も一緒に歩んでいきますよ。

YESSがそうした企業姿勢のひとつの集大成だと思っんですけど、当時から「遊ぶ」ことにかけてはかなりの力を入れてました。「TY250J」なんていうモデルを作って、トリアル教室を全国各地でやったりね。遊びに関することはすべてヤマハが一番最初に手掛けたといってもいいくらい。
そうした「遊び心」が、僕の遊び好きとピッターと合って、長い付き合いが続いているんでしょうね。きつと。
遊びとはちよつと違うかも知れないけど、こんなエピソードもありました。東京でバイクの売り上げが落ち込んで、どうしたら売れるかっていう問題がでたとき、真っ先に出た答えが「セールスマンがみんなバイク好きになればいい」っていうんです。ユニークですよ。そして、その事に真剣に取り組んだんですから、売れる人が売れる品物を好きになるっていうのは当たり前ですが、そうじゃないことって多いですからね。とてもフレキシブルです。

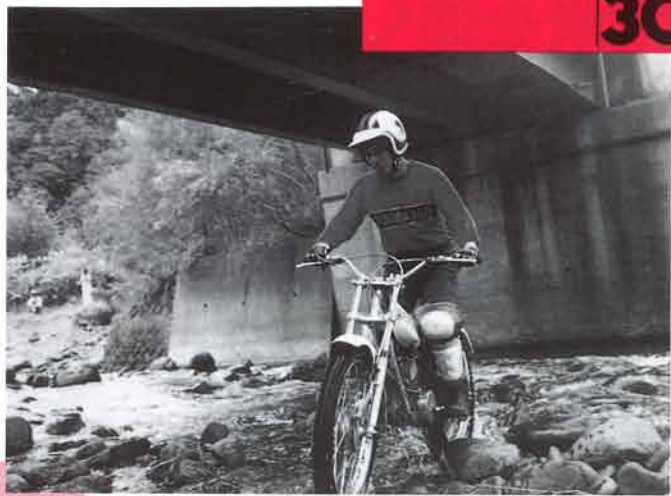
今では当り前の活動になっていきますけど、当時はユニークに映りましたね。全国を回って乗り方を教えていたんですけど、この部分っていうのは直接お金にならないでしょ。でも、そんな僕らを可愛がってくれて今日まで来ているわけですから。
YESSがそうした企業姿勢のひとつの集大成だと思っんですけど、当時から「遊ぶ」ことにかけてはかなりの力を入れてました。「TY250J」なんていうモデルを作って、トリアル教室を全国各地でやったりね。遊びに関することはすべてヤマハが一番最初に手掛けたといってもいいくらい。
そうした「遊び心」が、僕の遊び好きとピッターと合って、長い付き合いが続いているんでしょうね。きつと。
遊びとはちよつと違うかも知れないけど、こんなエピソードもありました。東京でバイクの売り上げが落ち込んで、どうしたら売れるかっていう問題がでたとき、真っ先に出た答えが「セールスマンがみんなバイク好きになればいい」っていうんです。ユニークですよ。そして、その事に真剣に取り組んだんですから、売れる人が売れる品物を好きになるっていうのは当たり前ですが、そうじゃないことって多いですからね。とてもフレキシブルです。



末端の声を大切にした 自由な発想の物づくりをいつまでも

飴屋 孟 社長

(YSP札幌中央)



昭和50年ラルマナイ川・トライル教室

●昭和22年、札幌市生れ●乗車歴25年
※中学生の頃、北海道大学の構内でバイクに乗ったのがバイクとの最初の出合い。高校時代に先生の影響を受けてYGS-1でモトクロスを始め、その後室蘭工業大学に進み同大学の単車会を創立。安全運転コンテスト全国大会で入賞したのをキッカケにヤマハ専風のインストラクターとなり、全道の高校生に乗り方を教えるかたわら昭和51年には「アメヤマモーターサイクル」を創業。

まだ高校生で、しかもなんの実績も無いのに、免許を取るのからレースに出場するための車両、それにメンテナンスと、何から何までヤマハの人に面倒見てもらったからね。当時は「北海道ヤマハモーター」っていう名称だったと思うけど、ヤマハファンとかいうんじゃないで、ヤマハは僕のバイクライフそのものでした。

その頃のヤマハに対する印象は、客を大切にすることも面倒見の良いメーカー、というところですかね。それに、ずいぶん小回りがきくな、とも思いました。客の声がダイレクトに製品に反映されているということですね。北海道向けの寒冷地仕様車も、ヤマハが一番最初に出したと思

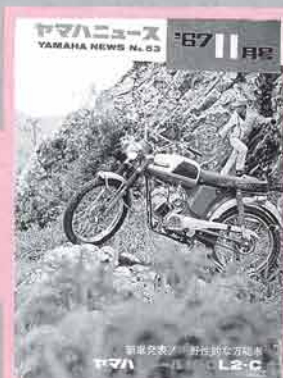
いますよ。

ある意味では、客の夢をかなえてくれるということですが、そういった部分は今でも生き続けていると思います。たとえば「セロー225」ですが、あのバイクはソフトなオフロード走行、手軽に楽しめるオフロードを実現してくれたモデルです。数えあげればそういった車種は相当あるわけで、それにエンジンを使って海から空まで着実に守備範囲を広げていく、そんなところも夢をかなえ、与えるという印象につながっています。

インストラクター時代に「SLモトクロス教室」。「SLトライアル教室」を通して若い人たちに乗り方を教えてきて、今ではそういったモータースポーツを普及させるためにイベント開催のお手伝いをさせてもらって。私自身、モータースポーツをやるために販売店を始めたのか、販売をするためにモータースポーツをやっているか判らない状態ですが(笑)、老若男女、思想の違いを超えた共通の話題として、幅広い人々とコミュニケーションできるオートバイという乗り物の素晴らしさを、一人でも多くの人に知ってもらいたい、という気持がいつもあります。

16才の若者と65歳の年配者が、一緒に行動できる世界なんて他にないでしょ。大きなロマンがオートバイにはあるんです。

大きな組織になればなるほど、末端の声が届きづらくなります。今後もヤマハには、末端で楽しむ人たちの声を反映した、夢のある物づくりができるメーカーであってほしい。私の将来の夢は「モーターサイクル大学」みたいなものを作って、底辺ライダーの拡大と教育をやっていくことですが、その時になっても、その夢に足る「物」づくりを続けていてほしいですね。



未来を描く—バイクワールド

イラストレーション 摺本佳作

空想する21世紀のバイクワールド。氏は写実的でロマンあふれる画風で多くのファンから支持を得るとともに、自他ともに認めるバイク好き。日頃目にする氏の作品とは、ひと味違った夢の世界をお楽しみください。

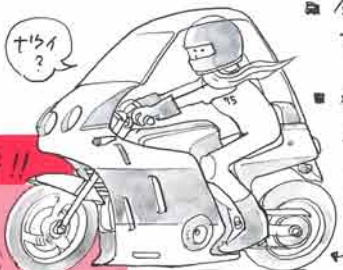
両合羽の進化!!

- オヤ、オヤ、全カバードタイプと
思ったら、これが合羽だった。



石けん箱型 バイク!!

- 全カバードタイプ
にこう言うのである。
- やっぱバイクは
このむき出し感が
いいと。
せいでこのへんまで
と大木の意見です。



ヒゲの流行!!

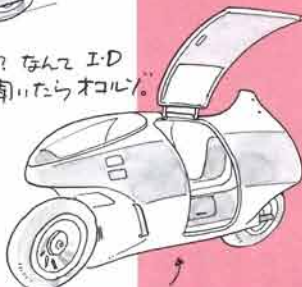
- かつて若
者の娘の
風になび
くお母さん
が、今はヒゲ
の流行です。

「ヒゲが
着けて
売れて」



「これバイク? なんて ID
ナンバーが 開いたらオコシ」

「このくらい
ならいいね」



「カシ(1976年)摺本さんが
作ったクルマのデザインに似てる」

レプリカ様

- あの、おつと前に「パーツと
花が咲いたレプリカに、
もう一度乗りたい」と言う人向けの
Xカが、ひびきに研究された。
これがソレダ?

「年輩者と
言うだけ」

「バカに
シブッテ」

「アッ
コレは
オコシ」



僕がステキにトシを
とってる(オオイヤダ)頃
バイクの毒界も
オコシになってる!
...ヨ、キョット! 摺本佳作

- バイクに乗ってる、117まで若くられる。
誰か医学的に証明してくれればいいな。
模型飛行機を作ってる、117まで若く。
これも一諸にあ願ひします。

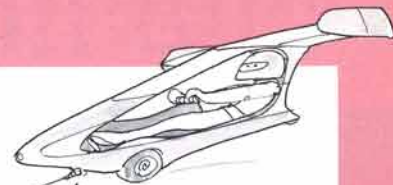
- 適度の振動か、手と足を別々に
動かすこと、いい風と、いいカオリと、
すまな物にいいのは、見て走りながら。
...と僕は思っています。

- おり便利に、科学がすすむと、
これがラジオだ。
これが万華鏡だ。いろいろが、つくって
来る。

- バイクと一緒、
300キロ出たって言うこと、
あの頃の2-11のヨ!とヒゲのジーパン
が、言う言っています。

レーンが変わった!!

- 高速の安全に走りには... ほんのちの
時どうする、逆設的に考えたら、
うう、空を生かせ! と言うなった。

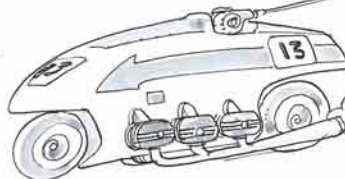


- ちの時、フックが、はあれ
グライダーになる。
すつとあつて、空地にありは、良し。

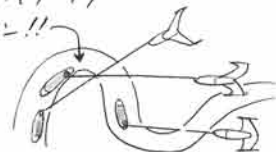


「これ、もけこう
うき上るのだ」

- 早速、市販車もあらわれ
改造もエスケート。



「一番むづかしいテクニック
S字クロスライン!!」

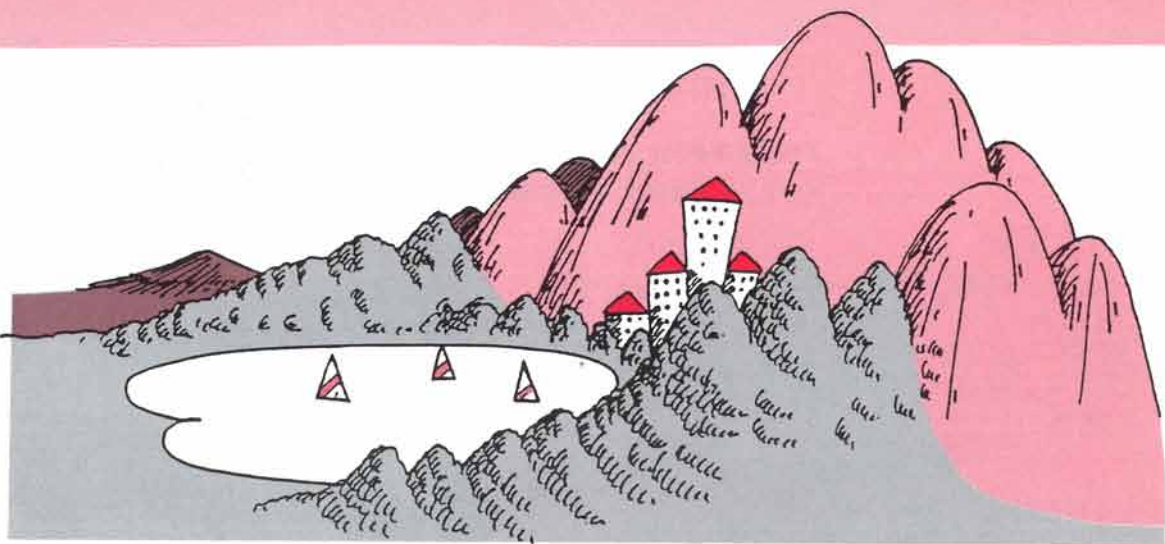


「こうなったら、4コット
ちがうのは!!」

- 過去のレーンとは逆で、
重たいと、うかつと、
重量制限は1000キロ以内で決められてる。

佐藤 久さん

オートバイだけでなく、色いなるものが売れる店。もちろん遊びや商品の情報もタップリ、居るだけで楽しい店にしたい。



小西 秀さん

こだわり屋さん向け、ヤマハだけに絞った専門店、情報の幅はなくても、うーんと深味のあるのがいい。



奥野克哉さん
クルマに工具をいっぱい積んで、走っていく場所がすべてお店。旅をしながら商売がきたらな。



三浦勝己さん

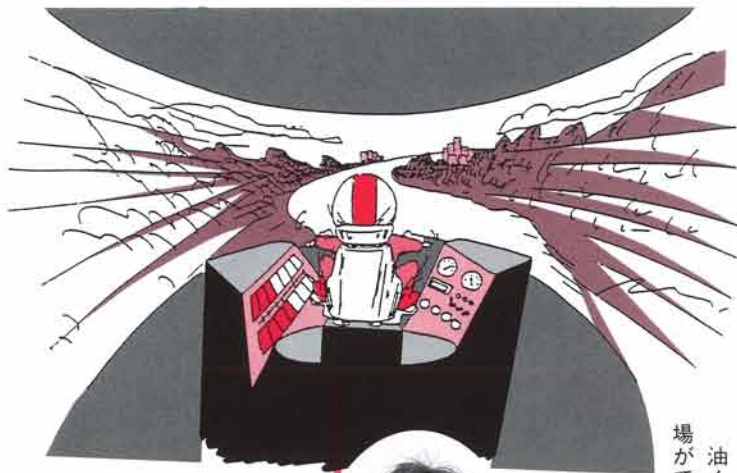
アシレックルームがあって、ライダーになるための基礎トレーニングができて、あらゆるモータースポーツにチャレンジ!



優秀な技術と知識を身につけるために、YTS二輪車整備士講習会。会場で猛勉強中の若いスタッフのみなさん8名に、それぞれバイク販売に対する未来の夢を語っていただきました。どの夢も、実現したらとても楽しそうですね。

桑原富美夫さん

郊外の店舗、店の周囲はすべて遊びのスペースで、週末には都市部からお客さんがリゾート感覚でやってくる。



伊藤正己さん

イベントたっぷり、情報たっぷり、集まったお客さんは全員仲間。転倒なしの体験試乗もできるゾ。



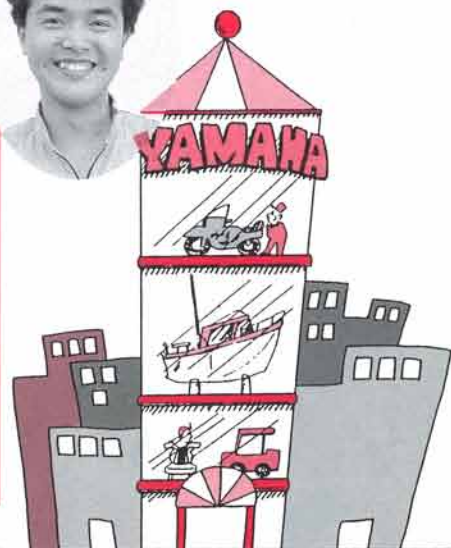
油くさを一掃、ハイテクサービス工場ができるといいな。

渡辺一彦さん

明るさが取柄。全面ガラス貼りで、思いきり開放感があるのがいい。



福岡三千緒さん



未来を描く—ヤマハワールド

イラストレーション 高橋唯美

さて、最後は未来のヤマハワールド。
陸に、海に、空に、大きく夢を広げて、
舞台は宇宙へ。地球から300光年離れた
FZ R星雲の中のJOG星では、ハイテ
ク技術を駆使したヤマハ製品が、星の住
人たちの生活からレジャーまで、すべて
を支えています。

大気が薄く、外出するときに宇宙服を
着用しなければならないのがちょっと難
点ですが、ヤマハ製品に囲まれての生活
は快適そのもの。いつかはみなさんも、
この星に遊びに来てください。



ヤマハニュース300号の話題——人・物・活動

みなさまのご商売に役立つ情報を、また店頭にも明るく楽しい話題をと、送り続けて300号。改まってヤマハニュースの足跡を振り返ってみると、それはそのまま日本のオートバイの歴史でもあるようです。300号記念特集の最後は、ヤマハニュースに掲載された記事から、オートバイの、ご商売の、そしてヤマハの歴史として反響を呼んだいくつかのトピックスを取り上げてみました。

新技術

高性能と洗練されたデザイン、抜群の扱いやすさ、さらにそれらを実証する国内外レースでの活躍と、ヤマハニュースは創刊以来、数かずの商品関連情報を取り上げてきました。が、そうした情報を語るとき見逃せないのは、オートバイの性能を飛躍的に向上させ、時代に大きな変革をもたらした新技術の開発です。

2サイクル全盛時代を築き上げ、ヤマハの名を世界の端々まで知らしめたオイルの分離給油方式「オートループ」(64年)と、足回りを一新した「モノクロスサスペンション」(74年)を筆頭に、数えきれないほどのエポックメイキングな新技術が誌面を賑わせてきました。

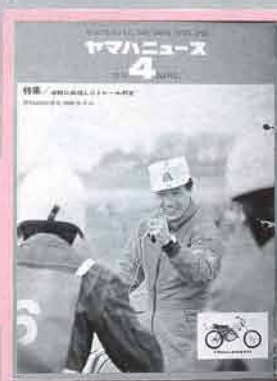


オートループは ヤマハの誇りです

レースに、公道に、走りの世界を一変させた「モノクロスサスペンション」。スイングアームのみのリヤ足回りの外観は、その後のバイク・デザインにまで大きな影響を与えた

ガソリン給油時のオイル混合の手間を解消し、2サイクル車の欠点とされていた排気煙の多さ、経済性などを一気に向上させた「オートループ」は、改良を重ねられ最新のスポーツバイクにも生かされている 川上社長(現・会長)を囲んで……(64年)

4輪レースで活躍する「O X77」エンジンの先駆ともいえる自動車エンジンの開発は、名車「トヨタ2000GT」のデビューで広く世間に知れ渡った。トヨタ自動車工業(現トヨタ)との共同開発で、ボディデザインとエンジンをヤマハが担当(66年)



新ジャンル

オートバイのみならず、あらゆる分野へチャレンジする意欲的な活動は、会社発足以来一環して受け継がれるヤマハの姿勢です。オートバイ界に参入して驚異的な躍進を見せてから10年、強化プラスチック（グラスファイバー）製のボートの発表を機に、陸に、海に、空にと、着実にテリトリーを拡大しています。

新市場開拓商品

オートバイの新しい遊び、使い方の提案と普及も、ヤマハの一環した主張のひとつです。実用優先の時代にホビィとしてのバイクを提案した「YDS-1」（59年）、オフロード走行の楽しさを世界に訴求した「DT-1」（68年）、新スポーツ「トライアル」の火つけ役となった「TY 250 J」（73年）、そして主婦層の新コミュニティバイクとしてスクーターを定着させた「パッソル」（77年）と、ヤマハが築いた新スポーツ、新需要には、すべて市場を切拓くニューモデルの存在があります。そしてこの主張は、MP12レースの「YSR 50/80」、道を選ばずに走りの世界を堪能できる「TDR 250」を見てもお判りのように、今も脈々と息づいています。

トレールとは踏みつけて道を作る意味—それまでのスクランブラーとは確実に一線を画した「DT-1」。オフロードスポーツの底辺拡大は、このバイクだからこそなし得た



発売と同時に爆発的な人気を呼んだ「パッソル」。当時工場は休日返上のフル稼働で市場からの要求に対応していた



「パッソル」ラインはフル稼働生産に、配送に、全社一丸の増強体勢



ヤマハモーターボート発表会



箱根・芦ノ湖で行なわれたヤマハモーターボートの発表会。高性能ぶりと流麗なスタイルが観客の目を釘づけにし、海の王者への躍進を確信させた。（60年）

雪国の生活に、冬場のレジャースポーツに、大きな期待を担って登場したヤマハのスノーモビル。徹底した研究開発の結果、発売から4年目、1971年には世界選手権でメーカーチャンピオン獲得



モータースポーツ

いきなりレース出場て華々しくデビューを飾った第1号車「Y A-1」を例に挙げてもおわかりの通り、ヤマハの歴史はそのまゝモータースポーツへの挑戦の記録です。'56年の「富士登山レース」を皮切りに、「ロードレース」モトクロス、トライアル、レーシングカート、スノーモビルと、32年もの長期に渡り書き切れないほどの輝かしい記録を樹立しています。

しかし、こうした栄光の影に、ヤマハニュースは何度か悲しいお知らせもしてきました。'60年代GPレースの雄、B・アイビ―選手、サーキットの疾風、J・サーリネン選手、リトルジャイアントこと高井幾次郎選手……みんなレースを愛し、サーキットに散っていった方たちです。彼らの残した功績と無言の言葉の意味を常に噛みしめながら、明日のモータースポーツを考えていきたいと思っています。

キャンペーン

商品力とお店、そしてお客さまが一体となって、はじめて市場喚起が図れるのは今も昔も同じです。全国統一キャンペーンの告知と活動レポートは、今も変らぬヤマハニュースの大きな役割のひとつです。

アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリア、東南アジアと、世界51カ所で繰り広げられた前代未聞の超大型キャンペーン「オートループ・キャンペーン」です。世界中のディーラーさん、販売店さんが意識をひとつにして、大きな成果をあげました（'66年）



◆日本中の販売店さんの店頭へ、長蛇の列ができた*らくらく書きコンテスト*。全国の子供たちから、「ヤマハメイト」を主題とした楽しい作品が、なんと26万点も寄せられました（'71年）



◆商圏の特性に合わせて、お店独自の各種プランを組み立てる近代的手法を打ち立てた「GOGO YAMAHA」キャンペーン。需要創造プラン、代替プラン、イベントPRプラン、店頭誘引プラン、購入動機形成プランの5つの主プランは、現在のご商売にも十分に通用する販売の基本でした（'74年）

いま大きく伸びる50cc需要
GoGo YAMAHA
で業績アップをめざそう!!



Go Go YAMAHAは、50cc車にマトをしほったすに役立つセールスプラン集です。



快拳

アドベンチャー・ライダー風
間深志氏の『TW200改』に
よる北極点到達は記憶に新しい
ものですが、オートバイという乗
り物を持つロマンは、まだまだ
成長期にあったライダーの冒険
心をもくすぐっていたようです。
ご紹介の記事の他にも、和泉
雅子さんのスノーモビルによる
北極点チャレンジやドン・ベス
コの絶対速度記録など、ヤマハ
は数多くの勇者たちの信頼でき
るパートナーとして、常に選ば
れています。



「YDS-3」で世界60ヵ国、13万6千
キロを2年8ヵ月かけて走破した吉田滋
氏（現ヤマハ発動機株式会社資料課
課長）の壮挙は、世界でも類をみないも
のとして大きな話題を呼びました（'66年）



一方こちらは免許取得後たった3ヵ月で
単身ヨーロッパツーリングに旅立った佐
納なかこさん（当時34歳）。『RD350』を
駆って見事18,513キロを4ヵ月で走破。
*88チャレンジ3000キロ*が当時あったら、
新記録まちがいなし！（'73年）

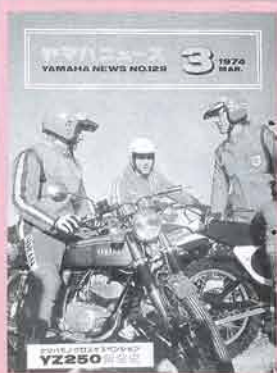
レクリエーション施設

週末は大自然に囲まれたリゾ
ートで過ごす。現代人の生活に
定着したリゾート思考も、先駆
はヤマハでした。アウトドアを
中心とした各種スポーツ施設で
の心地良い汗と、グルメをうな
らせる味、そして安らぎの時を
約束する宿泊施設は心と身体
の開放、真のレクリエーションを提
案するヤマハのひとつの答えで
す。



↑総合レクリエーション施設「つま恋」
の命名は、川上源一社長（現会長）
が、平安時代の歌人橘為仲が掛川
近くの小夜の中山で詠んだ『たび
ねする 小夜の中山 さよ中に
鹿ぞ鳴くなる 妻や恋しき』にち
なんで付けたものです（'74年）

↓数か所のスポーツ・レジャー施設
に、ロードコース、モトクロスコ
ースなど本格的モータースポーツ
施設を備えたお馴染み「スポーツ
ランドSUGO」。今や関東、東北
を中心とするモータースポーツの
メッカとなっています（'75年）



有名人

スマートなヤマハオートバイにぴったりのスマートな有名人。ナイスガイ・裕ちゃんこと故・石原裕次郎さんをはじめ、数多くの方たちが誌面を飾り、ヤマハを盛り上げてくれました。もちろん、みなさんヤマハの大ファンです。

(敬称略/50音順)石原裕次郎、糸井重里、井上順、宇崎童童、具志堅用高、西郷輝彦、三遊亭楽太郎、マイク真木、水沢アキ、宮崎美子、桃井かおり、八千草薫、柳家小三治、由美かおる、吉田日出子、渡辺貞夫、渡部絵美



石原裕次郎



由美かおる



西郷輝彦

ヤマハファン

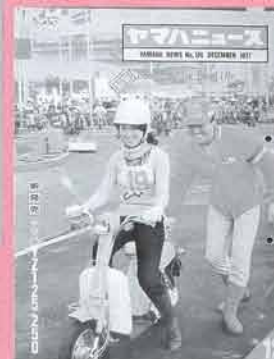
今日までヤマハが順調に伸長を遂げてこられたのも、ヤマハの品質を認め、応援してくれらるみなさんがいたからこそ。世界中の方に愛されています。そして、これからもよろしくお願いたします。



ご主人は「DS5-E」を、奥さまは「メイトU5E」を駆るヤマハファンのご夫婦・高知県清水さんが、「美しく、丈夫に育つように」との願いを込めて、愛娘に「山葉」ちゃんと命名。22年前のことなので、もしかすると山葉ちゃん2世が誕生しているかも？



ヤマハファンは世界中にいます。各地の風土に合わせて使い方は様々ですが、ヤマハを愛する気持ちはひとつ。



ニューモデルの
お客さま

BWS

(ビーウィズ)

思いっきり遊べる バイクが欲しかったんです

志山篤永さん (大阪府枚方市)

●21歳・会社員●所有免許・中型二輪
●二輪乗車歴・5年●BWS・昭和63年4月30日購入●購入店・YOSHOP
●SHOPステップII●BWS以外の所有車・RZ250/DT50

普段の街乗りやツーリングにはRZ250があるから、とにかく遊べるバイクを捜していたんです。というのは、この前砂地に50ccで乗り込んだんですけど、なかなか思うように走れなくて、それで、もっとパワーのあるDT125Rが、タイヤが太くてどこでも走れそうなTW200にしようか、それともBWSかって迷ったんです。

実はね、いま足をケガしていて、歩きまわるのがちょっとつらくて。でも、いくらケガしているからといって、普通の街乗りのBWSですけれど、街中でも重宝します。スクータにありがちなフラフラしたところはないし、太いタイヤのおかげで、コーナーでも安定します。デザイン的にも気に入っています。デュアルヘッドもカッコイイし、テールの処理なんかバツグンですよ。ね。

あーあ、早く砂地で遊びたいですね。天気の良い日に河原へ行って、思い切り走って。気持ちいいだろーなアノ。



舗装路だけじゃ 物足りなかつたの

三浦永久子さん (埼玉県草加市)

●19歳・専門学校生・独身●所有免許・中型二輪●二輪乗車歴・1年●昭和63年5月14日購入●購入店・YOSHOP
●草加南●BWS以外の所有車・TZR250

半年間アルバイトしたお金で、3月に憧れ続けてたTZR250を買ったんです。快調ですよ。速いし、乗りやすいし、新しいストロボカラーに視線は集まるしね。スタイルこそ変わらなかったけど、モーターショーでは一番新鮮に見えたの。

もう一台目に止まったのがBWSね。ロボットみたいな顔をしたスクーターが、マリッジレットの横にあったの覚えてる。おもわず声が出ちゃったわよ。

「カッワイイ」ってね。

ある日、TZR250の1000キロ点検にお店に行ったら、そのBWSが置いてあるじゃない。どうしても欲しくなっちゃって……。でもTZR250を買ったばかりだし、一晩考えることにしたんです。結局は買っちゃいましたけどね。

最初はお買物用にと考えてたんですけど、実際は50%くらい河原遊びに使っています。お店のクラブの人達がモトクロスで練習している横で、チョコチョコと走りまわります。楽しいですよ。そのあとのお掃除が大変ですけど、もうすぐBWSだけのレースをやるんですって。河原でもう少し練習を積んだら、私もチャレンジするんだ!!

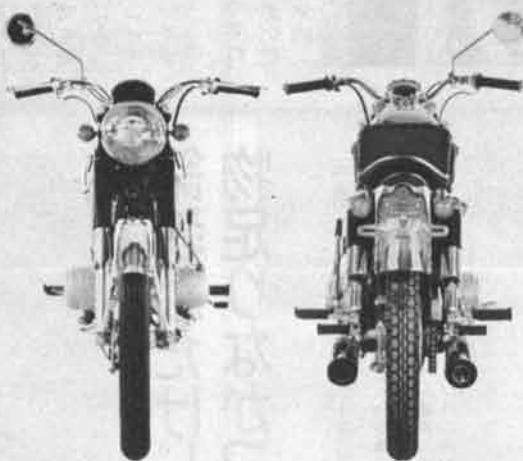


2ストローク250ccの黄金時代を確立した YDS-3

ヤマハスポーツ250YDS-3
YAMAHA SPORTS 250 YDS-3



YD1、YDS1と2ストローク250ccの分野で他を圧倒しはじめたヤマハは、開発の手をゆるめることなくさらに完成度の高いマシンを求め、YDS2、YDS3へと発展させた。時代は64年。東京オリンピック開催にあたり、高速道路の整備拡充が進み、モータリゼーションはますます活性化を見せることになる。YDS3はそんな時代にちょうど適応したマシンとして登場した。



YAMAHA SPORTS 250 YDS-3

仕様	
全長	1875mm
全高	1080mm
全幅	750mm
軸間距離	1385mm
前輪径	180mm
後輪径	180mm
最高速度	150km/h
0-100km/h	14.7秒
燃料消費率	43.4cc/100km
最低燃費	29
最高出力	17.8
最大トルク	2.3kg・m
総重量	234kg
乾燥重量	218kg
燃料容量	18.0リットル
保証期間	3年無制限走行
保証料	15,000円

YDS3は発売早々から好調な売れ行きを見た。それはYDS3の走りやスタイルの良さのためであったが、YD1以降ヤマハが2ストローク250ccの分野で他をリードして積み重ねてきた高い信頼性も人気の理由となっていた。

YDS3のデビューは64年の6月。YDS1の2ストロークらしい加速力をベースに性能上の安定感を高めたYDS2が、このYDS3の基本構成となっている。中でも実用車YA6で採用したオートループ式分離給油装置が装備されたことにより、2ストロークの弱点とされていた燃料給油時のオイル混合の手間が省かれた。もちろんオイルの給油量は常に適量送られることにより、燃焼の効率化とオイル消費の低減を実現したことも見逃せない事実であった。これによりサイドカバーを兼ねたオイルタンクを装備し、現代車らしいオートソックスなスタイルを確立することになる。

YDS3は、空冷2ストローク2気筒246cc 最高出力24ps/7,500rpm 最大トルク2.3kg・m/6,000rpm 最高速度147km/h 0-100m 15.8秒 車重159kg リターン式5段変速というスペックを持っていた。特に秀でていた点は軽量化で剛性の高いパイプ式のダブルクレードルフレームであり、持てるパワーをいかに発揮できるヤマハらしい作り方であった。

'58年に伊藤史朗がYD1改でカタリナGPに6位入賞して以来、続くヤマハのスポーツ性溢れる作り込みは、YDS3でも多くのファンによってロードレーサーへと変身したことで証明される。

64年12月。つまりデビュー半年後にYDS3はマイナーチェンジを受け、タンクマークが丸い音叉マークのものから、YAMAHAのロゴが入った楕円状となった。車



スポーツの眼界が広がった

ハイウェイ時代にふさわしい、究極の高速設計で、ヤマハスポーツ YDS 3が誕生しました。スロットル全開でどこまでも走れる魅力、加速性能、耐久力を求めていかに追求した新設計です。まず馬力——24PSにアップ。しかも回転数は7,500r.p.m.におさえて、低速時もねばり強さが驚異的。グリップのわずかな開きで、鋭く加速します。最高速度は147km/h。ツインキャブで、回転のスムーズな2サイクルの威力が倍加しています。世界で初めてのオートループ機構も採用。レーサーゆずりのメカニ

ヤマハオートループ

2サイクルエンジンに、混合ガソリンを使わない、世界で初め機構。オイルとガソリンは、別々のタンクからエンジンに供給されます。しかもオイルの量は、回転数や運転の継続時間に応じて自動的にコントロールされますから、つね適量。どんなに激しく走ってもヤケルことを知りません。4サイクルとちがって、いかに燃費がよいのか、オイルはそのつと積気ガスといっしょに放出。シリンドラーには1ストロークごとに、最新のオイルが送り込まれ、常に新鮮なオイルが供給されます。

YAMAHA 250



ルーツとなった名車YDS 1、まさに日本のスポーツバイクの草分け的存在であった



体色は黒のほかに赤も加えられたほか、ハンドル形状がアップタイプへ変更された。ヤマハが画期的なオートループ機構を開発し、実用車Y A 6に世界で初めて搭載した'64年は、YDS 3のほかに50ccのY F 1、55ccのY J 1、75ccのY G 1 D、そしてロードレーサーT D Bがデビューした。また、これと同時にヤマハはオートループ機構の開発でアメリカの機械工学優秀賞を受賞し、2ストローク技術での自信をさらに深めたのだ。

'64年といえば東京オリンピックで日本は大きく賑った。しかし、6月には新潟大地震、8月の東京異常洪水など波乱に富んだ年でもあった。この年はモーターリゼーションの発展に影響するエポックもあった。それは国際道路条約加盟のための法整備が行なわれ、ここで初めてキープレフトの原則が確立され、同時に国際免許制度も実施されるに至った。また、東海道新幹線もこの年に東京—大阪間が開通。9月には名神高速道路—90 kmが開通するなど日本の交通網の拡充はすさまじい勢いですすめられたのだ。

一方、快進撃を続けるヤマハのロードスポーツ部門では、フィル・リードが250ccクラスで大活躍を見せてメーカータイトルを獲得しただけでなく、RD 56のポテンシャルを世界中に知らしめることで、ヤマハ・2ストローク・ツイン250のYDS 3の評価は一段と高まるのだった。

ヤマハはYDS 3の成功で、'65年にはこれをベースとしたY M 1(305cc)を発表して、いよいよ350ccクラスへの拡充をすすめることになる。そんな意味でYDS 3は「2ストロークのヤマハ」を確固たるものとして確立させた名車として記念されるべき一台である。

(山本一成)

短期集中講座

お店の

POWER UP
パワーアップ

人づくり・店づくり・客づくり⑥



店づくり編(Ⅲ) お客を呼ぶ店(変化のあるお店)

今回は「店舗の日常管理」について考えてみました。この作業の特徴は、定型化されたおなじことの繰り返しで、一定水準を維持することでした。

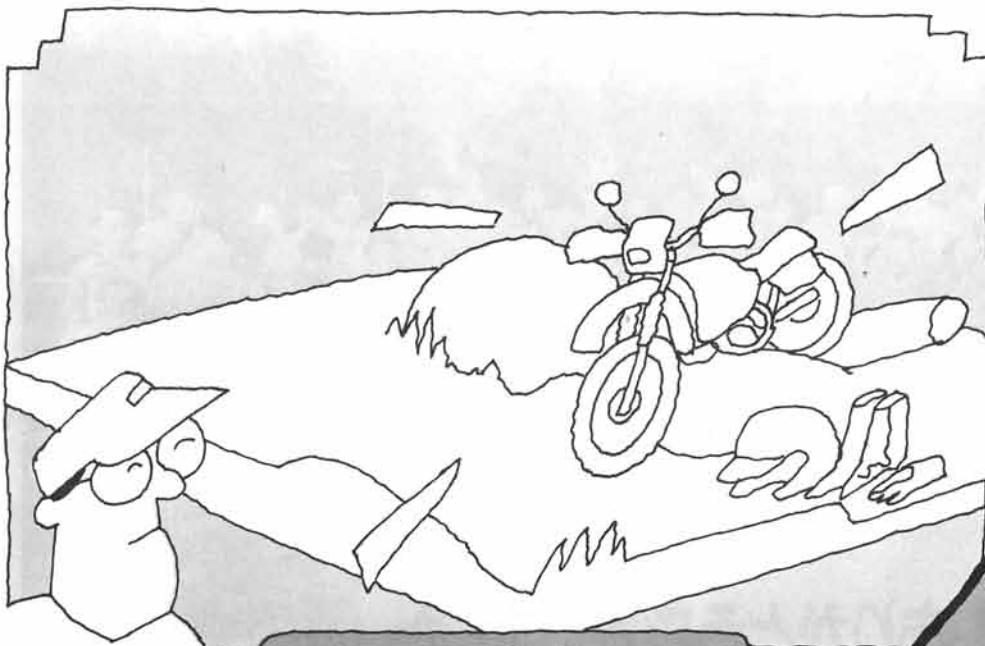
今回のテーマは、同じ店舗の管理でも店舗や商品展示など、マンネリ化を防ぎ季節や内容によって変化づける必要がある作業についてです。ただし、この作業は各店が持つ要素や環境によって千差万別の方法があるため、ここでは作業をすすめやすくするための基本的な要件について考えてみます。

●店舗や商品の展示方法がマンネリ化しているかどうか、これを知るためにはまず、自分のお店を客観的に観察して見る必要があります。つまり、お客さんの目でお店を見直してみることがですが、毎日見ている物だけに別の視点から見直すというのは、なかなか難しいものです。簡単な方法としては、お客さんになつたつもりで店内を歩いてみる、という方法があります。これでもたまにやってみると思わぬ発見があり、有効ですが、ここでお勧めなのは、カメラやビデオカメラを使い、定期的にお店の内外を撮影しておくという方法です。

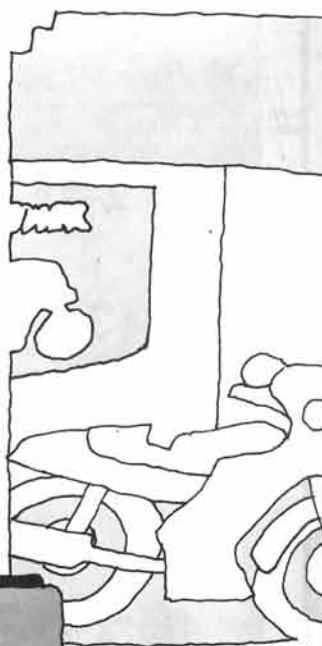
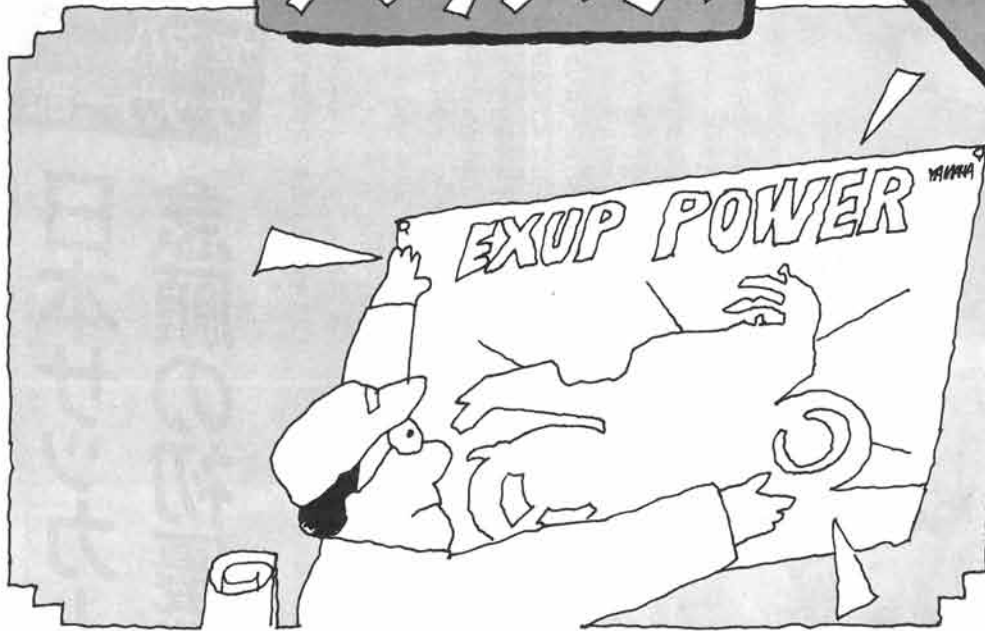
ただ一通り撮っただけのものでも、写真やテレビで見ると、他のお店を見るように客観的に見るができます。これを見ながら問題点を探し、検討します。また、この方法は記録として残すことができ、後にとても役立ちます。

●つぎに、お店を見るとき基本的な注意点を述べておきます。まず商品陳列についてですが、これは売れる商品に合った陳列がされているかがポイントとなります。

高価なスポーツバイクを陳列する場合の基本は、お客さまにジックリと見ていただけるよう、たくさん並べることよりも余裕を持った陳列を心がけましょう。その時の最重点車種や新型車については、店頭のアイキャッチャーとしても、小物



メンテナンス



を使ってそのバイクの特性を訴えるディスプレイを施しておきましょう。

オンロードスポーツとオフロードスポーツといったように、特性の違った物を同時に並べる場合は、両方をゴチャゴチャにせず、明確な区別が必要です。

●ファミリールバイクなど、比較的手軽に手に入る価格帯のバイクを陳列する場合は、ジツクリと見せる展示よりもある程度の量を陳列することによって、豊富さを出すことが有効です。車種やカラーリングの豊富さは、お客さまに安心感と選ぶ楽しさを与えます。

スポーツバイクとファミリールバイクの両方を扱うお店であれば、店舗の内と外、ショールームの右と左というくらい、明確に2分した陳列が良いでしょう。

商品陳列の最近の傾向は、シンプルです。どちらの場合も、よく整理し、スッキリと見せましょう。

●これと同じことが店舗についてもいえます。良く見られる傾向として、メーカーが持つて来るPOP類を、空いているスペースを探して次つぎにつけてしまうお店がありますが、一度全部外してから必要な物は何か見直してみたらいかがでしょう。ポスターやPOPはあるから使うのではなく、必要だからあるのです。

●店舗にしても陳列にしても、これが良いのだ、というベストなものはありません。店により、扱う商品により、季節によっても変化させることが大切です。そしてこれらの良否を決めるのは、店主さんのセンスです。他店や他業界のお店、雑誌やメーカーの資料など、日頃から注意しながら見て、自分のお店に適用できるかどうかを常に検討、勉強していくことが大切です。



絶大なるご声援、ありがとうございました

ヤマハ サッカー一部

日本サッカーリーグで 念願の初優勝

リーグ戦開幕から絶大なご声援をいただいておりますヤマハサッカー部が、5月8日、ホームグラウンドのヤマハ東山サッカー場(静岡県磐田市)での対マツダ戦を1対0で勝ち、シーズン勝ち点を31点と伸ばし2試合を残しながら早くも念願の日本リーグ初優勝を飾りました。

今季のヤマハサッカー部は、本場ブラジルからプロチームの名指導者レサット氏を特別コーチに招く他、アンドレ、アディウソンの2名の本場選手を加え、またサッカー王国・静岡の名門校、東海大一高のスタープレイヤー、サントス君も戦力に加わるなど、日本リーグ優勝の最有力候補として、ファンの期待を集めていました。



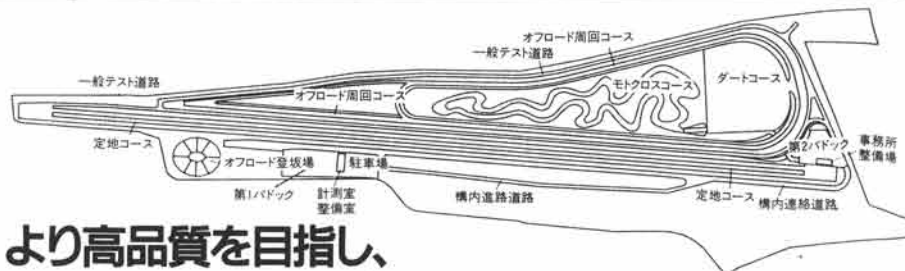
優勝と美酒に酔い鏡開き。左から石井選手副将、小長谷監督、内山主将、江口社長、森下選手(副将)。この日地元・磐田市は、街中が優勝の話題一色に染まった。

昨年10月17日の開幕第一戦、前期3位の三菱重工との試合を1対0でものにしたのを皮切りに、最終戦の日産自動車との試合まで負けなし。スピードある攻撃と手堅い守備で、22試合連続勝ち点とシーズン最少失点(10点)の2つのシーズン記録も打ち立て、優勝に花を添えました。昭和58年の天皇杯優勝以来の快挙に、

杉山隆一総監督をはじめ選手、ファンともにもグラウンドは沸き返る中、就任一年目の小長谷監督は「1試合もゲームを捨てなかった。極限までトライしようという気持ちがあんなにあった」と、長く苦しいリーグ戦の労とともに喜びを語っていました。ご声援くださったみなさま、本当にありがとうございました。



優勝の原動力となったブラジルトリオ、左からサントス、アディウソン、アンドレの各選手(白のユニフォーム)



より高品質を目指し、 さらにキメ細かな走行テストを

『ヤマハ浜岡テスト コース』完成

ニューモデルがみなさまの手元に製品となって届くまでには、性能や安全性、耐久性、走行感など、細部にわたりより完成度を高めるための数かぎりない走行テストが繰り返して行なわれます。

現在ヤマハは、袋井市（静岡）にヤマハコース、浜北市（静岡）にトレールランドを有し、種々のテストに使用していますが、さらに多様な条件下でのテストを可能とするために、静岡県小笠郡浜岡町に『ヤマハ浜岡テストコース』を開設いたしました。

このテストコースは、定地テスト（JISの二輪車走行試験方法を満す一定のコースにおけるテスト）を主体としたコースで、約16万平方メートルの敷地の中に、定地ストレートコース、モトクロスコース、オフロード周回コース、ダートコース、一般テスト道路が自然環境の保全に留意しながら配られています。

『毎日バイク特別訓練会』

ライダーのための安全運転特訓会として年一回、恒例となっている『毎日バイク特別訓練会』が、5月16・17日の2日間にわたりスポーツランドSUGOで開催されました。

毎日新聞社が主催し、総務庁とヤマハ安全運転推進本部が後援にあたるこの訓練会は別名『地獄の特訓会』と呼ばれ、その内容の厳しさは有名。ライディングの基本がぎっしりつまったスケジュールに、全国各地の100名を越す応募者の中から選抜された女性11名を含む30名がチ

ヤレンジ。インストラクターの厳しい指導のもと、馴れぬ不整地走行や、安全運転に必要なコーナリング、ブレーキングの基本をみっちり学びました。

また、昼間の地獄とは違ってかわり、16日夜に催された懇親会ではバイク談話に花が咲き、参加者同志の親睦を深めるなど楽しい中にもホットな交流も見られ、訓練終了後は参加したみなさんは大満足。安全運転の必要性和バイクの素晴らしさをジックリと見つめ直した、有意義な2日間でした。



小さなオートバイで大きな友情を

留学生九州国際ツーリング

〔ヤマハ九州機〕オリジナルのユニークな国際交流活動が続ける「柳川国際青少年ロッジ」(福岡県 代表・竹井澄子さん



ツーリング中、九州直島の県庁へ立ち寄り福岡市で開かれるアジア太平洋博覧会のメッセージを手渡す

は、祖国を離れ勉学に勤しむ九州在住の在日留学生や海外技術研修生たち(6ヶ国、15名)と3月25日から31日までの一週間にわたり、九州一周の国際親善ツーリングを行ないました。

このツーリングは円高の折、厳しい生活を強いられている留学生たちに、帰国前に日本の楽しい思い出をつくってもらうことと、九州各地でのバイクを通じた国際交流を目的に実施されたものです。

アメリカ、ペルー、タイ、パキスタン、中国、そして日本の青年たちがヤマハ九州機から貸与された「TDR250」・「XV250ピラーゴ」・「TW200」の各車を駆り、九州各地で親善活動を展開。どこへ行っても大変な歓迎を受けて、全国でも例のない国際色豊かなツーリングを成功させました。



新緑萌える軽井沢にYESSSスタッフが集う

『バイクビレッジin軽井沢』

〔ヤマハ東京機〕YESSS東京フロックのスタッフのみなさんには、すっかりとお馴染みとなった『バイクビレッジin軽井沢』が、4月16日、17日の2日間にわたり開催されました。

本格的なツーリングシーズン到来ということもあり、120名を超すライダーが参加。晴天に恵まれた絶好のツーリング日和りに、雪の残る浅間山を眺めながら思い思いの走りを楽しみ、会場となった、ホテルグリーンプラザ軽井沢へと集合。

夜の親睦パーティでは、お店単位で楽しむゲームも多数用意され、盛り上がりも絶好調。翌日にはBWSによるダート

走行会も行なわれ、2日間を大いにエンジョイしました。



高原にさわやかな熱風

『バイクビレッジin乗鞍』

〔ヤマハ中部機名古屋営〕一方こちらは名古屋の販売店さん4店によるバイクビレッジ。東京と比べるとちよつと小規模ですが、その分身の濃さはパツチリ。春まつ盛りの4月23日、24日の2日間、南アルプスの麓、乗鞍高原を会場に開催されました。

周辺には雪が残り、朝晩はかなり冷込むという状況でしたが、親睦パーティでは全員が身体を合せて風船割りゲームを楽しむなど、会場は熱気に包まれました。翌朝は残雪を利用した宝さがしゲームに、BWSを使つてのタイムトライアルと、33名の参加者が時間が経つのも忘れ

ゲームに興じ、充実の2日間を過ごしました。



女性ユーザー2500名を動員

『レディスライダーズ・ミーティング』

ミーティング

〔ヤマハ中部機名古屋営〕女性ライダーの台頭は最近よく話題にのぼりますが、愛知県で『YSP春日井』と『YSP一宮』の2店を営む『オート・プラザひらの』さんでは、そんな女性ライダーにターゲットを絞つた『レディスライダーズ・ミーティング』を開店10周年のイベントとして開催し、大成功を納めました。

このイベントは、女性向け二輪専門誌『レディスバイク』誌とヤマハ中部機名古屋営の後援により実現されたものです。が、ミニFM局の開局やダーツゲーム大会、ラムネ早飲み大会、大抽選会など楽しい催しが女性客の人気を呼び、晴天に恵まれたゴールデンウィーク中ということもあり、店頭は連日超満員。平野社長いわく「女性対象ということを確認に打ち出したので、女性客のみなさんが安心して集まれたのではないでしようか」とのことでしたが、これからの商売、女性ライダーの存在はますます無視できなくなっているようです。



おめでとうございます。4月1日付で、シングルスター店を取得された全国のみなさんです。次の目標であるダブルスター店目指して、ガンバってください。

- 北海道
- YOU SHOP フジキ
- YOU SHOP 大嶋
- サイクルオート 山本
- スナダオート
- 函館マジマ
- 青森
- YOU SHOP みのるモーターサイクル
- 岩手
- YSP石巻西
- YOU SHOP 中畑
- 秋田
- YSP秋田中央
- 山形
- YSP米沢
- YSP鶴岡
- YOU SHOP いがらし
- YOU SHOP 酒田
- 宮城
- YOU SHOP スカイロード
- 福島
- YOU SHOP モトファミリー 福島
- 栃木
- YSP宇都宮南
- YSP宇都宮東
- YSP小山
- YSP大田原
- YSP宇都宮西
- YSP足利東
- YSP足利西
- 千葉
- YSP船橋中央
- YSP浦安
- YOU SHOP サイクルプラザ高広
- YOU SHOP 飯田輪業
- YOU SHOP オートショップ北島
- YOU SHOP モトモンド
- YOU SHOP オートサービス マベ
- 埼玉
- YSP与野
- 東京
- YSP平井
- YSP江東西
- YSP新宿中央
- YSP鷺の宮
- YOU SHOP 石井モータース
- YOU SHOP 磯貝モータース
- YOU SHOP モトショップ オカベ
- YOU SHOP メカニカル アシスト シルバー
- YOU SHOP アルゴ
- YOU SHOP マカベモータース2
- YOU SHOP 横川モータース
- YOU SHOP 弁慶
- 神奈川
- YSP横須賀西
- YSP横須賀
- YSP逗子
- YSPあざみ野
- YSP田奈
- YSP鎌倉
- YSP麻生
- YSP港北南
- YOU SHOP サイクルショップやぎざわ
- YOU SHOP 白根サイクル
- YOU SHOP 丸安サイクル 港南
- YOU SHOP NOBU
- YOU SHOP オートサイクル対馬
- YOU SHOP 湘南オート ライフタウン店

- YOU SHOP 湘南オート寒川店
- YOU SHOP 原モーターサイクル
- YOU SHOP 湘南オート 本店
- 山梨
- YOU SHOP アトム
- YOU SHOP ばらあふ
- 長野
- YSP安曇野
- YSP小諸
- YSP上田
- YOU SHOP かみじま
- YOU SHOP てづか
- YOU SHOP 清水サイクル
- 新潟
- YSP新潟中央
- 静岡
- YOU SHOP マルヨシサイクル
- YOU SHOP サイクルプラザ ナカガワ
- YOU SHOP アタミオート
- YOU SHOP 鈴木自転車モーター店
- YOU SHOP サイクルスポート加藤
- 高木輪業
- 愛知
- YSP江南
- YSP海部
- YSP岡崎中央
- YOU SHOP モトラード
- YOU SHOP こばやし
- YOU SHOP MOTO KIDS
- 三重
- YSP四日市
- 石川
- YOU SHOP モーターショップ いわさき
- YOU SHOP モトハウス 橋
- 福井
- YOU SHOP 片岡モーター商会
- 岐阜
- YOU SHOP 柳原モータース商会
- YOU SHOP バイクファン
- 京都
- YSP嵯峨野
- YSP伏見
- YOU SHOP 小寺サイクル
- 川勝モータース
- 奈良
- YOU SHOP 上村商会
- YOU SHOP サイクルショップ タカイ
- 橋本サイクルセンター

- アリマサイクル
- 滋賀
- サイクルショップ いせき
- 大阪
- YSP寝屋川
- YSP大阪北
- YSP大阪池田
- YSP河内
- YSP大阪中央
- YSP堺泉北
- YSP堺東
- YSP大阪狭山
- YSP大阪南
- YOU SHOP フォレスト
- YOU SHOP 吉祥オートサービス
- YOU SHOP 田中輪業商会
- YOU SHOP バイクショップ マックス
- YOU SHOP いちかわ
- YOU SHOP ヨネシマオート
- YOU SHOP 中松商会
- YOU SHOP バイクショップ ナガシマ
- YOU SHOP バイクショップ 原口
- YOU SHOP バイクナッツ
- YOU SHOP バイクショップ池
- YOU SHOP バイクショップ タキ
- YOU SHOP 岩根オートサイクル
- コレサワサイクル
- 中井商会
- オートショップ井沢
- 兵庫
- YOU SHOP バイクサロン ハヤシ
- YOU SHOP ユーオートショップ 西店
- YOU SHOP 望月オート
- YOU SHOP 甲子園
- YOU SHOP レッドゾーン
- YOU SHOP 尾崎商会
- YOU SHOP 石井自転車商会
- YOU SHOP 木野元
- 一井サイクル
- 寺田モータース
- 山根サイクル
- 石井サイクル
- 広島
- YSP尾道
- YOU SHOP モトショップ イマダ
- YOU SHOP サイクルセンター カワモト
- YOU SHOP 久保商会
- YOU SHOP 木曾サイクルセンター

- YOU SHOP オートショップ 福山
- バイクセンター西条
- 鳥根
- YOU SHOP サーディーン
- YOU SHOP 益田二輪商会
- 田中オート
- 二岡モータース
- ライダーズショップ モトガイズ
- 山口
- YSP下関
- YOU SHOP モトライフ フジタ
- 香川
- YSP高松
- YSP観音寺
- YOU SHOP ワールドオート
- YOU SHOP 坂出
- 久次米モータース
- 愛媛
- YOU SHOP 四国マリン & モータース
- オールバイク共和
- 徳島
- YOU SHOP 白川
- YOU SHOP 志内
- YOU SHOP 二輪館
- 高知
- YOU SHOP バイクショップ松浦
- 福岡
- YSP豊前
- YOU SHOP 中川輪業
- YOU SHOP バイクプラザ スプール
- 大分
- YSP中津
- YOU SHOP 藤沢二輪
- 長崎
- 高島商会
- 宮崎
- YSP宮崎
- YOU SHOP モリモータース
- YOU SHOP 東洋モータース
- オートショップ ヒダカ
- 熊本
- YOU SHOP 桜山サイクル
- バイクショップ ツチダ
- モーターショップ フクナガ
- 沖縄
- YSP宜野湾
- YSP那覇

YTSヤマハ二輪車整備士講習会スケジュール

サービス技術のプロフェッショナル・ショップとして、お客さまの間に着実に定着しつつあるヤマハ・テクニカルサービス・スター(YTS)店。整備器機の充実や作業環境など、YTS店となるためには厳しい資格

の要件基準が設定されていますが、資格取得の第一歩は何といってもサービスマンのサービス技術の向上です。YTSヤマハ二輪車整備士講習会で、お客さまが納得するサービス技術を身につけてください。

会場	6月	7月
北海道ヤマハ		B 6-8
研修センター東京東	B 2-4	B 11-13
研修会館(本社)	4M 7-9	B 12-14
研修センター神戸	2M 14-16	B 18-20
ヤマハ中国	B(岡山) 14-16	B 21-23
ヤマハ四国	B(高松) 6-8	B 20-22
研修センター福岡	B 14-16	2M 13-15

B: ベイシック 2M: 2サイクルマスター 4M: 4サイクルマスター
 ※都合により開催日の変更及び中止をする場合がありますのでご了承ください。 = 研修センター東京東

世界選手権ロードレース第4戦ポルトガル

ローソンの2勝目！(500cc)
J・ガリツガ初優勝！(250cc)

開催日…5月1日(日)
会場…ヘレスサーキット

早くも4戦目を迎えた世界GP戦は、5月1日、ポルトガルのヘレスサーキットで開催されました。注目の500ccクラスではエディ・ローソンをトップにYZR500を駆るヤマハラライダーが4位までを独占。また、250ccクラスでもYZR250でジュアン・ガリツガ(スペイン)がGP初優勝を飾りました。

めスタート。好スタートを切ったのはレイニー、その後にマギーが3番手とついで、ローソンとサロンが3番手をめぐって激しく競い合う。レース後半に入るとローソンがベイスを上げ、27周目に前を行くレイニーをとらえトップに立ち、そのままエツカーを受けました。2位にはレイニー、3位マギー、4位にサロンとヤマハラライダーが1位から4位までを独占しました。

250ccクラスは、スペインの若手ライダー、ガリツガが好スタートを切り、独走のスタート・ツー・フィニッシュで同クラス初優勝。

また、第3戦スペインGP(4月24日・ハラマサーキット)では500ccクラスで、今シーズン、チーム・ラッキーストライク・ロバートツヨリ全戦出場のカビン・マギーがGP初優勝し、2位にはローソンが入りヤマハラライダーの快進撃が続いています。



ヤマハラライダーが表彰台を独占したポルトガルGP。中央が優勝のローソン、2位のレイニー(左)、3位のマギー



上●スタートからうまいダッシュをみせ、スタート・ツー・フィニッシュで初勝利を飾ったジュアン・ガリツガ 下●スペインGPで初優勝を飾ったカビン・マギー

世界選手権モトクロス500ccクラス第3戦スウェーデン

今季初優勝
YZM500+J・ユハン!

開催日…5月8日
会場…スウェーデン・ストラップ

5月8日、南スウェーデンのストラップで開催されたモトクロス500ccクラス第3戦スウェーデンGPで、フランスのジャッキー・ピモン



が第1ヒートで今季初優勝、また第2ヒート3位に入り総合優勝を飾りました。第1ヒート、ピモンはH・カルキビスト、K・ニコルの猛追を振り切って快勝。第2ヒートでは好調なスタートで序盤トップをキープしたものの終盤に入ってからかわされ、惜しくも3位でゴール。レース終了後、ピモンは「ようやくベストコンディションに戻ったような気がする。次のフィンランドGPでもがんばる」と語ってくれました。

世界選手権モトクロス250ccクラス第3戦イタリア

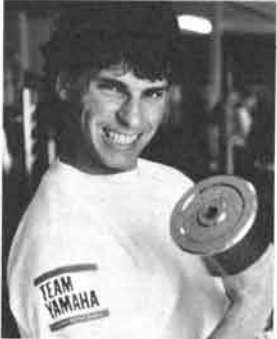
パーフェクト・ウィーン!
YZ250改+バンデンベルグ

開催日…5月1日
会場…イタリヤ

250ccクラスの世界選手権モトクロス第3戦イタリアGPが5月1日に開催され、YZ250改を駆るジョン・バンデンベルグ(オランダ)が両ヒートをパーフェクトウィーンで飾りました。

バンデンベルグは昨年、125ccクラスの世界チャンピオンで、今シーズンより250ccクラスにチャレンジしています。

バンデンベルグは、第1、第2ヒートとともに優勝し、シリーズランキングでもJ・ホワットレイを抜いて一躍トップに立ちました。



■全日本選手権第4戦鈴鹿ロードレース大会 藤原(500cc) 2勝目を上げれば、 YZF400(F3) デビュー戦で塩森が優勝!

開催日…4月24日(日)
会場…鈴鹿サーキット
観客…18,000人
天候…晴

●500ccクラス
決勝では藤原儀彦を先頭に、宮城光、伊藤真一、樋渡治らがトップグループを形成。藤原は前半、一時宮城や樋渡にトップを譲るシーンもあ

つたものの、9周目以降は首位をキープして、2番手樋渡に約9秒の差をつけ優勝。藤原は鈴鹿では初めての勝利となりました。



苦手の鈴鹿を克服して笑顔の藤原儀彦



EXRIP搭載のYZF400をうまく操りF3クラスの精鋭を飾った塩森俊伸

●TTF3クラス
決勝は田口益充のリードで開始され、その後YZF400を駆る塩森俊伸、種岡一吉、そして同じくYZFの平塚庄治らが続く展開。3周目のデグナーひとつめでインから田口をパスした塩森が、中盤以降快走して精鋭を飾りました。また、平塚も4周目から2番手に浮上し、そのままチェッカーを受けました。

■全日本選手権第5戦西日本ロードレース大会 本間利彦、本領発揮! TZ250で全日本初優勝

開催日…5月1日(日)
会場…西日本サーキット
観客…22,500人
天候…晴



全日本では初優勝の本間利彦。シリーズポイントでも48点でトップに立った。念願のシリーズチャンピオンを狙う。

予選1回目で1分14秒234を出した本間利彦が、唯一14秒台でポールポジションを獲得。そして2番手には同じくTZを駆る難波恭司がつけ、フロントローに並びスタート。決勝は本間が好ダッシュを見せ、その後難波、鈴木淳、菊池正剛の順で続く。本間は2番手の難波や3番手の鈴木との差を徐々に広げていきます。その間、スタートで出遅れた小林大が着実にポジションを上げ15周目で3番手まで浮上。しかし、トップを快走する本間や2番手の難波には遠く及ばず、チェッカーは本間に振りおろされました。本間は、ポール・ツー・フィニッシュを飾り、全日本初優勝。2位には難波が入りました。

■全日本選手権第3戦九州トライアル大会

TY250R 第3戦九州で1、2位獲得!

開催日…5月15日(日) 会場…熊本県鹿北砕石場跡
観客…3,500人 天候…雨/曇/晴



「天気が急速に回復しグリップが良くなってきたので、あせらずゆくりトライアルの功を奏した」とコイル後進った服部

第3戦を迎えた全日本トライアルは5月15日、熊本県鹿北砕石場跡を会場に開催。山の斜面を利用して1周6kmのコースの中に17セクションが設定され、持ち時間5時間30分で競技が行なわれました。
ロック主体のセクションは、朝の雨で滑りやすくグリップの悪い中でスタートとなり、1ラップ目、中川義博は減点27で2番手。チャンピオン伊藤敦志は減点35と今一步。そして2ラップ目、午後から天気も回復してセクションのコンディションも上昇。各選手の減点数も少なくなり、今年からTY250Rを駆る服部聖輝が減点13で回り、このラップ減点14で回った中川と同点となったものの、クリーン数で勝る服部が今季初優勝。ヤマハがワン・ツーを飾りました。

このページは、ヤマハ発動機各課から販売店のみなさまへのご案内です。さらに詳しくは、担当のセールスマン、各特約店、販売会社のサービス課（サービス）、普及課（セフティ）部品営業課（パーツ）までお問合せください。

販売店のみなさまへ

SALES

専用ウェアをぜひ活用ください



キチツとした服装は、お店の誠意、技術の信頼性をお客さまへ伝えます。

ヤマハでは、販売店のみなさまに、よりクオリティあふれる店づくりをしていただくために、各種専用ユニフォームを用意しております。積極的なご活用により、お客さまの信頼感をモノにしてください。

※写真はYSP店、YOUSHOPP店向けの作業用ツナギ。着心地、素材感を大切にしたいテニム地と機能的デザイン。店舗内装とマッチングするグレー地で、ヤマハ専門店としてのトータルイメージを演出。お客さまに安心感を与えます。

SAFETY

『a n セーフティツーリング北海道』をお客さまにご案内ください

求人情報誌アルバイトニュース「an」を発行している㈱学生援護会では、全国のライダーを対象に安全で楽しいツーリングを目的とした「anセーフティツーリング北海道」キャンペーンを6月1日から9月30日まで展開中です。

北海道ツーリングに際して、宿泊情報や現地での医療サービス、車両のメンテナンスサービス、交通傷害保険の加入などの各種特典が「anフレンドクラブ」の会員になることで受けられます。Y.E

SS特典、YESSSツーリングシステムと運動してご利用いただければ、より充実した北海道ツーリングが可能となります。この夏北海道を目指すお客さまにご案内ください。

●anフレンドクラブ入会資格・キャンペーン参加ライダー（全国対象）、入会金なし、会費1000円
●お問合せ：学生援護会・ツーリング事務局 03(3)2200-3401

SUGO

『つま恋カート・レーシングスクール』開校

KART

4輪レース界のホープ鈴木亜久里選手をはじめ、A・フロストやA・セナ、N・マンセルなどF1世界GPで大活躍するドライバーたちにもカート出身者が多く、また手軽に楽しめる4輪モータースポーツとして、話題、人気とも急上昇のレーシングカート。

ヤマハのスポーツリゾート「つま恋」では、こうした人気に応じて6月から11月まで、毎週1泊2日の日程で「つま恋国際カートコース」を会場に「カートレーシングスクール」を開校します。

未経験者を対象にライセンスの取得とカートの楽しさを知っていただく「ベイスティッククラス」と、レースの基本テクニックと実戦テクニックを学べる初心者対象の「マスタークラス」の2クラスを用意しました。講師にはヤマハファクトリードライバー（杉山茂雄、李好彦、他）があたります。

この機会をご利用いただき、みなさまの店頭にもぜひ迫力いっぱいのレーシング



グカートの話題を取り入れてください。
お問合せ つま恋モータースポーツクラブ 0567(24)8448 〒436 静岡県掛川市満水2000

A D

6月のヤマハ提供番組

ONZAN YOUTH

陸と海、両方に繰り広げられる素晴らしいヤマハワールドとスポーツマインドが画面いっぱいに表示される話題の番組。

『ONZAN YOUTH』の6月放送予定です。

▼6月4日『西宮マリンカーニバル』
▼6月11日『河崎選手引退・お疲れさまシャケさん』

大自然の中で 思いきり夏をエンジョイしてください

スポーツランドSUGOが、もっとも本領を発揮する夏休み。YESSEサマーフェスティバル、日本初開催のボカリスエットスーパーバイク世界選手権レース、F3000などモータースポーツ関連イベントはもちろん、テニスをはじめとする各種スポーツに加え、プールやキャンプ場、小・中学生対象のアドベンチャースクールなど各種スクール、ロックンロールオリンピックに、くぬぎ山荘夏休み料金SUGOふるさと祭りなど、数多くのプログラムを用意しています。

	大人	子供
一般	¥13,000	¥9,500
YESSE会員	¥11,000	¥8,000

※泊2食付



スポーツランドSUGOをご利用ください。大自然の中のリゾートホテル「くぬぎ山荘」も、YESSE会員向けに夏休み特別割引料金でご利用いただけます。

- ▼6月18日 『88マリンライセンスツアー』はいむるぶし
- ▼6月25日 『ちびっ子モトクロス』
- テレビ東京、テレビ大阪、テレビ愛知、テレビせとうち／毎週土曜日18時30分から18時45分。静岡放送／毎週日曜日8時から8時15分。北海道文化放送／毎週水曜日24時20分から24時35分。東日本放送／毎週土曜日23時30分から23時45分。テレビ新広島／毎週金曜日24時20分から24時35分。RKB毎日放送／毎週日曜日24時10分から24時25分。

■オリジナルコンサート／私たちの

創った音楽
(財)ヤマハ音楽振興会「ヤマハ音楽教室」

で学ぶ、世界各地の子供たちによる作曲の演奏発表会のもようを中継。限りなき才能を力いっぱい表現する子供たちの姿と、さわやかなメロディーを日曜日の朝にお届けします。

テレビ朝日系全国12局ネット。放送日／毎週日曜日。放送時間／午前7時30分から8時まで。

■ニュース22・プライムタイム

毎日の出来事やタイムリーな情報を解りやすく伝える、新形式のニュースショーです。

TBS系。放送日／月曜日から金曜日の毎日。放送時間／22時から22時54分。



"需要創造広告"新聞・雑誌で好評展開中

モーターサイクルがつくりだす、素晴らしいアウトドアライフをまだ未体験の方たちに、ぜひ一度ご覧いただきたい広告です。バイクを持つ若者たちのライフスタイルを通して、さわやかで活動的な生活を提案しています。

お店のお客さまを通じて、またお店の話題として、広くご案内ください。

掲載紙・誌／『朝日新聞』6月、7月第1日曜日朝刊、『ポパイ』『アンアン』6月、7月の月上旬発売号

ショールームにひと工夫 遊び心の演出がウケています

YSP古川東 千葉正浩店長
●宮城県古川市李坪字宮田14番0229(22)3322

お客さまがお店の個性を知るとも大きな要素、それがショールームです。品揃えや展示方法などにより、無言のうちに様々なメッセージをお客さまに伝えるショールームは、まさにお店の顔といったところ。

今回お訪ねした「YSP古川東」さんは、見やすく工夫を凝らしたショールームを中心に、お客さまに夢いっぱいバイクライフを提案し続けています。

●店舗の理想は 「遊びのステーション」

東北新幹線の停車地として、また仙台に次ぐ宮城県第2の都市として、急速に変貌を遂げる古川市。「YSP古川東」さんはこの古川市の郊外、大型電器店やスーパーが並ぶ国道沿いのショッピングストリートに今年3月にオープンしたばかりの新店です。

「ここは父親が古川市街でやっている南千葉モーターズの支店としてオープンしたのですが、計画の当初から、街中を避けた郊外店舗ということを考えていました。」

これは、オートバイが趣味の強い乗り物であると同時に、今後益々レジャースポーツとして発展しお客さんに受け入れられるようになってきたからです。

そうなるとお店の機能も売ったり修理したりだけではなく、多角的なソフトの提供ができる。「遊びのステーション」的な要素がウエイトを増してくるといえます。これを満たすには十分な駐車スペース、演出可能な広いショールーム、独立したサービス工場などが必要であり、そのためには郊外に店舗を作った方が有利という結論に達したからです。

こうしてできあがった店舗は103坪の敷地に、60坪のショールーム、15坪の認証サービスマン工場、7坪の事務所、18坪の倉庫が効率良くレイアウトされたもの。千葉店長の理想が最大限に盛り込まれています。

●キラリと光る各車の個性

お店は「遊びのステーション」という、千葉店長が描くお店の今後の姿が、もっとも良く表現されているのがショールーム。さりげなく工夫された商品展示が、個性あふれるバイクを求めにやってきたお客さまの遊び心をくすぐり、目を楽させています。

「オンロード、オフロード、そしてテイステイと、ヤマハにはそれぞれ個性豊かなバイクが揃っていますが、それらのバイクをただ同じに並べただけではお客さんのバイクに対する夢を膨らませること



5月に導入したBIC VOCSの説明を受ける千葉正浩店長(左)とマーケットプランナーの児玉淑克セールス(ヤマハ仙台営業所)

はできないと思いました。

そこで、それぞれの個性を光らせるために、ショールームを大きくオン、オフ、テイステイに分けてみました。

オフロード車の展示を例にあげてみると、フロアの一角に砂を敷き、丸太を置いたりして河原のイメージを出してみました。ディスプレイを見て、「あ、オフロード車っていうのはこういうところも走れるんだな」と、お客さんにオフロードの楽しさを再認識してもらえるようになります。

普段オフロードを走らないオンロードライダーにオフロード車をアピールするときに、オンロード車とオフロード車がただ整然と並んでいるだけではインパクトが弱いのですからね。

テイステイでもスチールのネットを使って、レーシースポーツ車とは一味違うアダルトな雰囲気を出すように心がけてみましたし、スポーツ車の展示も「FZRシリーズ」を中心にマシンの隅々まで見られるように廃材のスチールパイプを使って展示台を自作してみました」

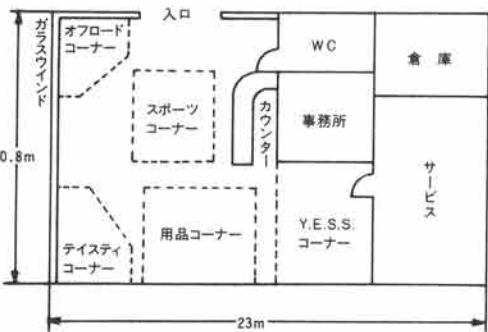
工夫を凝らしたマシンの展示だけでなく、このショールームにはもうひとつのアイデアが活かされています。それが用品の展示方法。

このお店には通常ある、用品だけをまとめた用品コーナーがありません。バイク本体と用品と一緒に展示され、互いに楽しさを引き立て合うという、ちょっと変わった魅力的な雰囲気があります。

「用品を揃えておくと、フリーのお客さんが入りやすく、また本体と一緒に展示してあれば用品購入が目的でないお客さんにも無理なく売りたい用品を見てもらえると思えます。」

それに、どちらか一方を見るといってはいけませんから、お客さんの店内滞在時間が延び、接客のチャンスも多いです。意外と効果的です」

●
認証工場を持つ充実のサービス体制、YES活動を中心にした遊びの提供と数かずの周辺活動も含め、千葉店長の理想とする「遊びのステーション」に向けて益々活気づく「YSP古川東」さん。シーズン真っ最中の東北で、今年一番の伸長株と大きな注目を集めています。



お店訪問

ショールーム中央にあるスポーツコーナーは廃材のステールパイプで自作されたステージで演出



古川と石巻を結ぶ幹線道路、国道108号線に面して建つ「YSP古川東」さん



アダルトな雰囲気までまとめられたテイスティコーナー



砂利を敷き詰めてオフロードの世界を再現させたオフロードコーナー、新商品「BWS」も並んでいる。



ショールーム中央にはお客さまコーナーも



幅広く落ち着いた商談カウンター



ショールーム奥にある情報いっぱいY.E.S.S.コーナー

ショールームの遊び心の演出に欠かせないのが用品、豊富な種類を効率良く展示



'88ヤマハTシャツコレクション新発売



ストリートパフォーマンス

楽しい色使いで、コミカルかつオシャレにモチーフされたバイクがポイント。ファッション性も高く、タウン志向の高感度ヤングまで幅広いターゲットを狙った商品です。



NEOクラシック

名車YD1Aのレース仕様車をキャラクターに、時代の流れとレースマインドを表現したタイプと、不要のライダーズスピリットをロゴ使いで表現した2タイプ。広くテイスト派のお客さまがメインターゲットです。

ヤマハレーシング

流れるようなYAMAHA RACINGの頭文字YRとともに、平忠彦選手をモチーフしたコレクション。新鮮なロゴ使いのタイプとグラフィック使いのタイプを用意しました。

ユニークでセンスあふれるデザインが好評の夏商品、『ヤマハTシャツ』の'88コレクションを新発売いたしました。
今年のコレクションの特徴は、フリーサイズとともに、どんな体型のお客さまにもフィットする最新の流行、ビッグシルエットを採用したことです。また、これに合わせて素材も着心地良く、風合感の増した綿

素材に変更いたしました。
年齢や志向を問わず、幅広い層にアピールする豊富なキャラクターと、新しい魅力の数かずが盛り込まれた『'88ヤマハTシャツコレクション』をお客さまにご案内いただき、この夏の店頭をさらに活気づけてください。

コレクション名	P/N O	品名	カラー	小売価格
ヤマハレーシング	90792-66340	CY600Tシャツ	ホワイト	¥2,600
	// -66350	CY601 //	ブラック	¥2,900
ストリートパフォーマンス	// -66360	CY602 //	ホワイト	¥2,400
	// -66370	CY603 //	ホワイト	¥2,400
NEOクラシック	// -66380	CY604 //	ブラック	¥2,800
	// -66390	CY605 //	グレー	¥2,600
	// -66400	CY606 //	グレー	¥2,600
マスコット	// -66410	CY607 //	ホワイト/ブラック	¥2,000
	// -66420	// //	ホワイト/レッド	//
	// -66430	// //	ホワイト/パープル	//
	// -66440	CY608 //	ホワイト	¥2,300
	// -66450	CY609 //	ホワイト	¥2,600

※サイズはすべてフリーサイズ、シルエットは従来商品より大きめです(流行のシルエット)

この夏贈る
ビッグな話題!



グアム島マリッジジェット体験の旅と
マリッジ・ポロシャツプレゼント

ヤマハ・レザーフェア
Wチャンスプレゼントで

一気に需要を盛り上げてください!!



いよいよ、夏のヤマハ・ライディングウェアの需要を一気に活性化させる『ヤマハ・レザーフェア Wチャンスプレゼント』のキャンペーン期間に突入です。店頭での話題を盛り上げる、カードゲームとクイズの2題。お客さまに楽しんでいただきながら、ヤマハのライディングウェアに、より親しんでいただく最高のチャンスです。どうぞ積極的にお客さまにご案内いただき、大きな成果をものにしてください。



マスコット

サーキットマインドをタウン風にアレンジ。レプリカバイクをデフォルメした、NEWキャラクターが魅力です。マシンが主役のタイプと、ヤマハボースズ&ギャルズの2タイプ。どちらも可愛く、若いお客さまの注目度はNo1。

